

札幌医科大学要覧

令和5年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	4
(3)	組織機構図	5
(4)	役職員	6
(5)	名誉教授	11
(6)	名誉博士	11
(7)	正職員数	12
	ア 総括表	
	イ 医学部学科目（基礎医学部門）職員数	
	ウ 医学部学科目（臨床医学部門）職員数	
	エ 医学部講座（基礎医学部門）職員数	
	オ 医学部講座（臨床医学部門）職員数	
	カ 医学部附属フロンティア医学研究所職員数	
	キ 保健医療学部職員数	
	ク 医療人育成センター職員数	
	ケ 専攻科職員数	
	コ 附属総合情報センター職員数	
	サ 附属病院職員数	
	シ 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	16
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
	オ 特設講座	
(9)	国際交流	32
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問研究員の受入	
	ウ 教員在外研究等	
(10)	標本館	34
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	35
(1)	学生に関する事項	35
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	37
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
(3)	国家試験合格状況	39
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
	カ 助産師	
(4)	研究生数	41
(5)	修士及び博士（医学）の学位授与者数	42

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数	42
3 附属病院	43
(1) 沿革	43
(2) 歴代病院長	44
(3) 患者概況	45
ア 年間延患者数	
イ 1日平均患者数	
(4) 中央部門稼働実績概況	46
ア 放射線部使用状況	
イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数	
ウ 薬剤部調剤件数	
エ 手術部手術件数	
(5) 分娩件数	49
(6) 病床数	50
(7) 病理解剖件数	51
(8) 医療相談状況（令和4年度）	52
ア 各科別件数	
イ 相談内容別件数	
ウ がん看護相談件数	
(9) 病院経営概況	53
ア 病院診療収入稼働額	
イ 医療行為別診療収入稼働額	
(10) 栄養管理サポート概況	54
ア NST介入件数	
イ 栄養指導件数	
4 医学部附属フロンティア医学研究所	56
(1) 沿革	
(2) 歴代研究所長	
(3) 歴代研究所副所長	
(4) 組織	
5 医学部教育研究機器センター	58
(1) 沿革	
(2) 歴代施設部長及びセンター長	
(3) 組織	
6 医学部動物実験施設部	60
(1) 沿革	
(2) 歴代施設部長	
(3) 組織	
(4) 関連委員会・指針	
(5) 事業の概要（令和4年度）	
ア 施設利用者数	
イ 実験動物購入数及び飼育数	
ウ 実験動物検疫検査実績数	
7 医学部サージカルトレーニングセンター	62
(1) 沿革	
(2) 歴代センター長	
(3) 組織	
(4) 業務概要	
8 附属総合情報センター	63
(1) 沿革	
(2) センター長	
(3) 組織	
(4) 所管システム	

ア	学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
イ	教育支援システム	
ウ	図書館システム	
(5)	図書館概要	
ア	施設概要	
イ	蔵書数	
ウ	雑誌種類数	
エ	その他の主な提供サービス	
オ	入館者数	
カ	図書館開館時間	
キ	貸出実績	
ク	館内施設利用	
ケ	相互利用	
コ	地域医療への貢献	
9	附属産学・地域連携センター	67
(1)	沿革	
(2)	歴代センター長	
(3)	組織	
(4)	業務概要	
ア	研究部門	
イ	開発部門	
(5)	文部科学省科学研究費助成事業	
(6)	受託研究受入れ状況	
(7)	特許出願等の状況	
10	地域医療研究教育センター	70
(1)	沿革	
(2)	歴代センター長	
(3)	組織	
(4)	業務概要	
11	寄附講座	71
(1)	アイン・ニトリ緩和医療学・支持療法学講座	71
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(2)	再生治療推進講座	72
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(3)	北海道病院前・航空・災害医学講座	73
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(4)	運動器抗加齢医学講座	74
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(5)	炎症性腸疾患遠隔医療講座	75
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	

ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
12	特設講座	76
(1)	南檜山地域医療教育学講座	76
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(2)	消化器先端内視鏡学講座	77
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
13	決算・予算	78
(1)	令和4年度決算	78
(2)	令和5年度予算	79
14	校舎等建物面積	80

1 概 要

(1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を開設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止 生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置

平成11年 4 月 1 日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年 6 月11日	新図書館開設
平成12年 4 月 1 日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員 6 名)開設 学務部を廃止し、学生部を設置 医学部に副学部長制(2名)施行 臨床検査医学講座増設
平成12年 6 月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年 4 月 1 日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年 4 月16日	地域医療支援センター設置
平成14年 4 月 1 日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月 1 日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月 1 日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年 4 月 1 日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 (財)大学基準協会による相互評価の結果、適合認定を受ける
平成16年 9 月27日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年 4 月 1 日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員 2 名)開設
平成19年 4 月 1 日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成19年10月 1 日	機器診断学廃止
平成20年 2 月13日	保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員 大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月 1 日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年 4 月 1 日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年 6 月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年 4 月 1 日	医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更 医科知的財産管理学、病院経営・管理学、放射線診断学を増設 生化学講座を分子生物学講座に名称変更 (財)大学基準協会による認証評価の結果、適合認定を受ける
平成24年 3 月31日	医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
平成24年 4 月 1 日	助産学専攻科設置 救急・集中治療医学講座を改組し、救急医学講座、集中治療医学を増設 遺伝医学増設
平成24年 9 月 1 日	附属病院中央写真室を廃止し、教育研究機器センター画像・映像支援部門を設置
平成25年 4 月 1 日	外科学第二講座を改組し、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学を増設 内科学第一講座を消化器・免疫・リウマチ内科学講座に、内科学第二講座を循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座に、内科学第三講座を呼吸器・アレルギー内科学講座に、内科学第四講座を腫瘍・血液内科学講座に、外科学第一講座を消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座に、医学部附属フロンティア医学研究所の分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更 事務局病院課栄養給食部門、患者サービスセンターを統合し、附属病院に医療連携・総合相談センターを設置
平成25年 8 月 1 日	医学部附属フロンティア医学研究所の遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更
平成26年 4 月 1 日	事務局学務課入試室を廃止し、アドミッションセンターを設置 附属病院看護キャリア支援センターを設置
平成26年 6 月 1 日	病院経営・管理学を病院管理学に名称変更
平成26年 9 月25日	新体育館・リハビリテーション実習施設・保育所竣工
平成26年10月 1 日	保健管理センター設置
平成26年12月 1 日	保健医療学部看護学科の再編に伴い、基礎臨床医学講座を廃止 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座に名称変更

平成27年4月1日	事務局病院課、医事センターを廃止 附属病院の事務部門を再編し、病院課、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置、病院経営・管理部を経営管理部に、医療安全推進部を医療安全部に名称変更
平成28年4月1日	消化器・免疫・リウマチ内科学講座を改組し、消化器内科学講座、免疫・リウマチ内科学を増設 腫瘍・血液内科学講座を改組し、腫瘍内科学講座、血液内科学を増設 医療人育成センター入学者選抜企画研究部門を廃止
平成29年3月29日	保健医療学研究棟増築部分竣工
平成29年4月1日	事務局管財課に施設移転室を設置 経営管理部経営管理課と医事相談センター（診療報酬部門）を統合し、医事経営管理部医事経営課を設置 医療連携センターと医事相談センター（相談部門）を統合し、医療連携福祉センターを設置 医科知的財産管理学を先端医療知財学に、臨床研修センターを臨床研修・医師キャリア支援センターに名称変更
平成29年10月1日	医療統計学を増設
平成29年12月25日	教育研究施設Ⅰ竣工
平成30年3月23日	附属病院増築棟（西病棟）竣工
平成30年4月1日	形成外科学を学科目から講座に改組 事務局学務課、附属病院病院課、附属産学・地域連携センターの研究支援に関する事務部門を統合し、事務局研究支援課を設置 附属病院医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年8月1日	附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更、附属病院遺伝子診療科を設置
平成31年4月1日	地域医療総合医学講座を総合診療医学講座に名称変更 アドミッションセンターを廃止 医療人育成センターに、入試・高大連携部門、統合IR部門を設置
令和2年4月1日	助産学専攻科を専攻科に名称変更し、専攻科に公衆衛生看護学専攻と助産学専攻を設置
令和2年9月1日	医療統計学を医療統計・データ管理学に名称変更
令和3年4月1日	医療人育成センターに応用情報科学部門を設置 地域医療研究教育センターを設置 附属病院に治験センターを設置 事務局総務課に情報推進室を設置し、附属総合情報センターの事務部門を移管
令和3年12月1日	医学部にサージカルトレーニングセンターを設置 耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座に名称変更
令和4年7月1日	附属病院感染症内科を設置
令和4年11月19日	新キャンパス落成記念式典挙行
令和5年4月1日	医事経営管理部に経営戦略室を設置

(2) 歴代理事長等

◎理事長

平成19年4月1日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成28年3月31日
 平成28年4月1日 — 令和4年3月31日
 令和4年4月1日 — 現在

今井 浩 三
 島 本 和 明
 塚 本 泰 司
 山 下 敏 彦

◎学 長

昭和25年4月1日 — 昭和36年3月31日
 昭和36年4月1日 — 昭和40年3月31日
 昭和40年4月1日 — 昭和45年2月1日
 昭和45年2月1日 — 昭和47年2月8日
 昭和47年2月9日 — 昭和55年2月8日
 昭和55年2月9日 — 昭和61年2月8日
 昭和61年2月9日 — 平成4年2月8日
 平成4年2月9日 — 平成10年2月8日
 平成10年2月9日 — 平成16年2月8日
 平成16年2月9日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成28年3月31日
 平成28年4月1日 — 令和4年3月31日
 令和4年4月1日 — 現在

(学長職務代理)

大 野 精 七
 中 川 幸 諭
 新 保 太 郎
 渡 邊 左 武 郎
 渡 邊 左 武 郎
 和 田 武 雄
 菊 地 浩 吉
 谷 内 昭
 秋 野 明
 今 井 三
 島 本 明
 塚 山 司
 山 下 彦

◎医学部長

平成5年4月1日 — 平成8年2月29日
 平成8年3月1日 — 平成12年2月29日
 平成12年3月1日 — 平成16年2月29日
 平成16年3月1日 — 平成18年2月28日
 平成18年3月1日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成26年3月31日
 平成26年4月1日 — 平成30年3月31日
 平成30年4月1日 — 令和3年3月31日
 令和3年4月1日 — 現在

秋 野 豊 明
 森 保 道 夫
 神 藤 孝 一
 佐 瀬 昇 志
 當 瀬 規 嗣
 黒 木 由 夫
 堀 尾 嘉 幸
 三 浦 哲 嗣
 齋 藤 豪

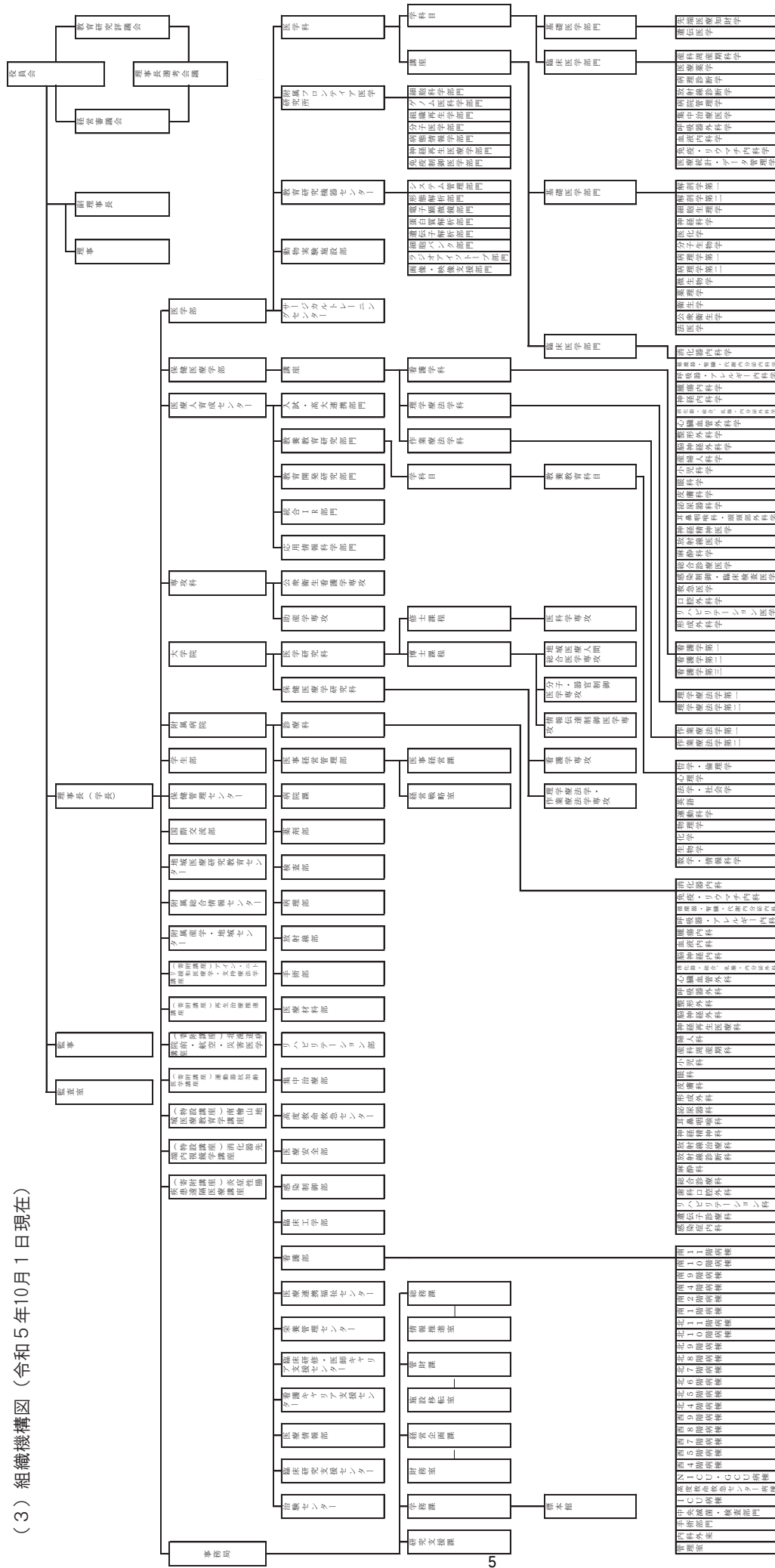
◎保健医療学部長

平成5年4月1日 — 平成9年3月31日
 平成9年4月1日 — 平成14年12月28日
 平成15年1月10日 — 平成15年2月28日
 平成15年3月1日 — 平成21年3月31日
 平成21年4月1日 — 平成27年3月31日
 平成27年4月1日 — 令和4年3月31日
 令和4年4月1日 — 現在

(学部長事務代理)

近 藤 潤 子
 佐 藤 公 剛
 乾 山 知 美
 丸 山 公 子
 乾 公 知 美
 大 日 公 輝 美
 片 寄 正 樹

(3) 組織機構図(令和5年10月1日現在)



(4) 役職員

(令和5年10月1日現在)

☐法人

◎役員会

理	事	長	山	下	敏	彦
副	理	長	鈴	木	一	博
理		事	齋	藤		豪
	〃		片	寄	正	樹
	〃		土	橋	和	文
	〃		近	江	秀	彦
監		事	山	崎		博
	〃		竹	内	弘	雄

◎経営審議会

	山	下	敏	彦
	鈴	木	一	博
	齋	藤		豪
	土	橋	和	文
"	近	江	秀	彥
"	太	田	三	夫
"	水	野		治
"	水	野	克	也
"	山	本	邦	彦
"	和	田	卓	郎

◎教育研究評議会

議 委		長 員	山 齋	下 藤	敏	彦
			齋	藤	正	豪
			片	寄	和	樹
			土	橋	泰	文
			佐	木		史
			渡	辺	道	敦
			山	蔭	浩	明
			大	西	俊	文
			鳥	越	隆	彦
			小	島	志	隆
			仲	瀬	裕	志
			一	宮	慎	吾
			高	橋	英	聰
			成	松	直	智
			小	塚	眞	樹
			中	村	瑞	子
			城	丸	内	恵
			小	山		誠
			今	田	直	和
			桃	野		樹

◎監査室

室 長(兼) 教授 坂 田 耕 一

☐大学

長（兼）

山下敏彦

◎事務局

長	長	長	長	長	長	長	長
次	次	課	進	室	室	課	課
局	局	推	轉	画	務	援	
務	務	報	移	企	務	支	
事	情	財	設	營	財	究	
事							
總							
兼							
管							
施							
經							
兼							
学							
研							

◎医学部

学 部 長 (兼)	教授	齋 藤 豪
副 学 部 長 (〃)	〃	仲 瀬 裕 志
〃 (〃)	〃	一 宮 慎 吾

○学科目

基礎医学部門

先端医療知財学	教授	石 埜 正 徳
遺 伝 医 学	〃	櫻 井 晃 洋

臨床医学部門

産科周産期科学	教授	(兼) 齋藤 豪
医 療 薬 学	〃	福 土 将 秀
病 理 診 断 学	〃	長 谷 川 匡
放 射 線 診 断 学	〃	畠 中 正 光
病 院 管 理 学	〃	(兼) 舛森 直哉
集 中 治 療 医 学	〃	升 田 好 樹
呼 吸 器 外 科 学	〃	渡 辺 敦
血 液 内 科 学	〃	小 船 雅 義
免疫・リウマチ内科学	〃	高 橋 裕 樹
医療統計・データ管理学	〃	樋 之 津 史 郎

○講座

基礎医学部門 (13講座)

解剖学第一講座	教授	大 崎 雄 樹
解剖学第二講座	〃	永 石 欽 和
細胞生理学講座	〃	當 瀬 規 嗣
神経科学講座	〃	(兼) 當瀬 規嗣
医 化 学 講 座	〃	高 橋 素 子
分子生物学講座	〃	鈴 木 拓
病理学第一講座	〃	鳥 越 俊 彦
病理学第二講座	〃	小 山 内 誠
微 生 物 学 講 座	〃	横 田 伸 一
薬 理 学 講 座	〃	久 野 篤 史
衛 生 学 講 座	〃	小 林 宣 道
公衆衛生学講座	〃	大 西 浩 文
法 医 学 講 座	〃	渡 邊 智

臨床医学部門 (24講座)

消化器内科学講座	教授	仲 瀬 裕 志
循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座	〃	古 橋 眞 人
呼吸器・アレルギー内科学講座	〃	千 葉 弘 文
腫瘍内科学講座	〃	(兼) 小船 雅義
神経内科学講座	〃	久 原 真
消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座	〃	竹 政 伊 知 朗
心臓血管外科学講座	〃	川 原 田 修 義
整形外科学講座	〃	寺 本 篤 史
脳神経外科学講座	〃	三 國 信 啓
産婦人科学講座	〃	齋 藤 豪
小 児 科 学 講 座	〃	津 川 毅
眼 科 学 講 座	〃	大 黒 浩
皮 膚 科 学 講 座	〃	宇 原 久

泌尿器科学講座	教授	舛 森 直 哉
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	〃	高 野 賢 一
神経精神医学講座	〃	河 西 千 秋
放射線医学講座	〃	坂 田 耕 一
麻 酔 科 学 講 座	〃	山 蔭 道 明
総合診療医学講座	〃	辻 喜 久
感染制御・臨床検査医学講座	〃	高 橋 聡
救 急 医 学 講 座	〃	成 松 英 智
口腔外科学講座	〃	宮 崎 晃 亘
リハビリテーション医学講座	〃	(兼) 高橋 聡
形成外科学講座	〃	四 ッ 柳 高 敏

○医学部附属フロンティア医学研究所

所 長 (兼)	教授	小 島 隆
副 所 長 (兼)	〃	本 望 修
細胞科学部門	〃	小 島 隆
ゲノム医科学部門	〃	時 野 隆 至
組織再生学部門	〃	三 高 俊 広
分子医学部門	准教授	佐 久 間 裕 司
病態情報学部門	教授	(兼) 小島 隆
神経再生医療学部門	〃	本 望 修
免疫制御医学部門	〃	一 宮 慎 吾

○医学部教育研究機器センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	鈴 木 拓
システム管理部門長 (〃)	〃	鈴 木 拓
形態解析部門長 (〃)	〃	小 山 内 誠
電子顕微鏡部門長 (〃)	〃	大 崎 雄 樹
蛋白質解析部門長 (〃)	〃	高 橋 素 子
遺伝子解析部門長 (〃)	〃	鈴 木 拓
細胞バンク部門長 (〃)	准教授	佐 々 木 祐 典
ラジオアイソトープ部門長 (〃)	教授	畠 中 正 光
画像・映像支援部門長 (〃)	〃	小 島 隆

○医学部動物実験施設部

部 長 (兼)	教授	高 橋 素 子
副 部 長 (〃)	講師	佐 々 木 崇

○医学部サージカルトレーニングセンター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	大 崎 雄 樹
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	四 ッ 柳 高 敏

◎保健医療学部

学 部 長 (兼)	教授	片 寄 正 樹
副 学 部 長 (〃)	〃	小 塚 直 樹
〃 (〃)	〃	中 村 眞 理 子

○看護学科

学 科 長 (兼)	教授	城 丸 瑞 恵
看護学第一講座	〃	城 丸 瑞 恵
〃	〃	堀 口 雅 美
〃	〃	水 口 徹 徹
〃	〃	秋 原 志 穂
看護学第二講座	〃	正 岡 経 子
〃	〃	上 田 泉
看護学第三講座	〃	今 野 美 紀
〃	〃	長 谷 川 真 澄
〃	〃	澤 田 い づ み
〃	〃	丹 野 雅 也

○理学療法学科

学 科 長 (兼)	教授	渡 邊 耕 太
理学療法第一講座	〃	小 塚 直 樹
〃	〃	谷 口 圭 吾
理学療法第二講座	〃	片 寄 正 樹
〃	〃	松 村 博 文
〃	〃	渡 邊 耕 太

○作業療法学科

学 科 長 (兼)	教授	仙 石 泰 仁
作業療法第一講座	〃	中 村 眞 理 子
〃	〃	太 田 久 晶
〃	〃	齊 藤 正 樹
作業療法第二講座	〃	仙 石 泰 仁
〃	〃	池 田 望
〃	〃	石 井 貴 男

◎医療人育成センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	佐 々 木 泰 史
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	鷺 見 紋 子

○入試・高大連携部門

部 門 長 (兼)	教授	小 山 内 誠
副 部 門 長 (〃)	〃	櫻 井 晃 洋
〃 (〃)	〃	齊 藤 正 樹

○教養教育研究部門

部 門 長 (兼)	教授	佐 々 木 泰 史
-----------	----	-----------

学 科 目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学	准教授	船 木 祝
心 理 学	〃	高 橋 義 信
法 学 ・ 社 会 学	〃	旗 手 俊 彦
英 語	教授	佐 々 木 香 織
運 動 科 学		(不 在)
物 理 学	教授	鷺 見 紋 子
化 学	〃	白 土 明 子
生 物 学	〃	佐 々 木 泰 史
数 学 ・ 情 報 科 学	准教授	大 柳 俊 夫
〃	〃	加 茂 憲 一

○教育開発研究部門

部 門 長 (兼)	教授	杉 村 政 樹
教育開発研究部門	〃	杉 村 政 樹

○統合IR部門

部 門 長 (兼)	教授	辻 喜 久
-----------	----	-------

○応用情報科学部門

部 門 長 (兼)	教授	佐 々 木 泰 史
-----------	----	-----------

◎専攻科

専 攻 科 長 (兼)	教授	片 寄 正 樹
公衆衛生看護学専攻 (〃)	〃	上 田 泉
助産学専攻 (〃)	〃	正 岡 経 子

◎附属病院

病 院 長 (兼)	理事	土 橋 和 文
副 院 長 (〃)	教授	高 橋 英 聡
〃 (〃)	〃	成 松 英 智
〃 (〃)	〃	舩 森 直 哉
〃 (〃)	看護部長	工 藤 美 幸
病 院 事 務 長 (〃)		高 梨 勝 則

診療科 (30科922床)

消 化 器 内 科 長 (兼)	教授	仲 瀬 裕 志
免 疫 ・ リウマチ内科長 (〃)	〃	高 橋 裕 樹
循環器・腎臓・代謝内分泌科長 (〃)	〃	古 橋 眞 人
呼吸器・アレルギー内科長 (〃)	〃	千 葉 弘 文
腫 瘍 内 科 長 (〃)	〃	(兼) 小 船 政 義
血 液 内 科 長 (〃)	〃	小 船 雅 義
脳 神 経 内 科 長 (〃)	〃	久 原 真
消化器・総合・乳腺・内分泌外科長 (〃)	〃	竹 政 伊 知 朗
心臓血管外科長 (〃)	〃	川 原 田 修 義
呼 吸 器 外 科 長 (〃)	〃	渡 辺 敦
整 形 外 科 長 (〃)	〃	寺 本 篤 史
脳 神 経 外 科 長 (〃)	〃	三 國 信 啓
神経再生医療科長 (〃)	〃	本 望 修
婦 人 科 長 (〃)	〃	齋 藤 豪
産科周産期科長 (〃)	〃	齋 藤 豪
小 児 科 長 (〃)	〃	津 川 毅
眼 科 長 (〃)	〃	大 黒 浩
皮 膚 科 長 (〃)	〃	宇 原 久
形 成 外 科 長 (〃)	〃	四 ッ 柳 高 敏
泌 尿 器 科 長 (〃)	〃	舩 森 直 哉
耳 鼻 咽 喉 科 長 (〃)	〃	高 野 賢 一
神 経 精 神 科 長 (〃)	〃	河 西 千 秋
放射線治療科長 (〃)	〃	坂 田 耕 一
放射線診断科長 (〃)	〃	畠 中 正 光
麻 酔 科 長 (〃)	〃	山 蔭 道 明
総 合 診 療 科 長 (〃)	〃	辻 喜 久
歯科口腔外科長 (〃)	〃	宮 崎 晃 亘
リハビリテーション科長 (〃)	〃	(兼) 高 橋 聡
遺伝子診療科長 (〃)	〃	櫻 井 晃 洋
感 染 症 内 科 長 (〃)	〃	高 橋 聡

病院課

病 院 課 長		菊 池 浩 紀
医事経営管理部		
部 長 (兼)	教授	舩 森 直 哉
副 部 長 (〃)		高 梨 勝 則
医事経営課		
医 事 経 営 課 長		諸 岡 宏 一
薬剤部		
部 長 (兼)	教授	福 土 将 秀
検査部		
部 長 (兼)	教授	高 橋 聡
病理部		
部 長 (兼)	教授	長 谷 川 匡
放射線部		
部 長 (兼)	教授	坂 田 耕 一
手術部		
部 長 (兼)	教授	川 原 田 修 義
医療材料部		
部 長 (兼)	教授	高 野 賢 一
リハビリテーション部		
部 長 (兼)	教授	不 在

高度救命救急センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	成 松 英 智
---------------	----	---------

集中治療部

部 長 (兼)	教授	升 田 好 樹
---------	----	---------

医療安全部

部 長 (兼)	教授	舩 森 直 哉
---------	----	---------

感染制御部

部 長 (兼)	教授	高 橋 聡
---------	----	-------

臨床工学部

部 長 (兼)	教授	升 田 好 樹
---------	----	---------

看護部

部 長		工 藤 美 幸
-----	--	---------

医療連携福祉センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	成 松 英 智
---------------	----	---------

栄養管理センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	成 松 英 智
---------------	----	---------

臨床研修・医師キャリア支援センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	辻 喜 久
---------------	----	-------

看護キャリア支援センター

セ ン タ ー 長 (兼)	看護部長	工 藤 美 幸
---------------	------	---------

医療情報部

部 長 (兼)	教授	千 葉 弘 文
---------	----	---------

臨床研究支援センター

セ ン タ ー 長 (兼)	理事	土 橋 和 文
---------------	----	---------

治験センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	高 橋 裕 樹
---------------	----	---------

◎学生部

部 長 (兼)	教授	渡 辺 敦
副 部 長 (〃)	〃	渡 邊 耕 太

◎保健管理センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	河 西 千 秋
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	今 野 美 紀
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	津 川 毅

◎国際交流部

部	長(兼)	教授	山 蔭 道 明
	(〃)	〃	舩 森 直 哉
	(〃)	〃	高 野 賢 一
	(〃)	〃	谷 口 圭 吾
	(〃)	〃	佐 々 木 香 織

◎地域医療研究教育センター

セ ン タ ー	長(兼)	教授	高 橋 聡
副 セ ン タ ー	長(〃)	教授	辻 喜 久

◎附属総合情報センター

セ ン タ ー	長(兼)	教授	大 西 浩 文
副センター長兼企 画 開 発 室 長	(〃)	准教授	廣 田 健 一
副 セ ン タ ー 長	(〃)	〃	山 本 武 志
〃	(〃)	〃	天 野 宗 一 郎

◎附属産学・地域連携センター

セ ン タ ー	長(兼)	教授	鳥 越 俊 彦
研 究 部 門 長	(〃)	教授	宇 原 久
開 発 部 門 長	(〃)	〃	石 埜 正 穂

(寄附講座)

アイ・エリ緩和医療学・ 支 持 療 法 学 講 座	(兼)	教授	山 蔭 道 明
再生治療推進講座	(兼)	教授	本 望 修
北海道病院前・航空・ 災害医学講座	(兼)	教授	成 松 英 智
運動器抗加齢医学 講 座		特任教授	射 場 浩 介
炎症性腸疾患遠隔 医 療 講 座	(兼)	教授	仲 瀬 裕 志

(特設講座)

南檜山地域医療教 育 学 講 座	(兼)	教授	辻 喜 久
消化器先端内視鏡 学 講 座	(兼)	教授	仲 瀬 裕 志

(5) 名誉教授 (授与順)

(令和5年10月1日現在)

名 誉 教 授		三 木 毅	名 誉 教 授		
〃		小 片 基	〃		
〃		藤 永 蕙	〃	(元学長)	
〃		近 藤 潤	〃		
〃	(元学長)	敷 英 世	〃		
〃		菊 地 浩 吉	〃		
〃		大 鹿 英 世	〃		
〃		形 浦 昭 克	〃		
〃		三 宅 浩 次	〃		
〃		小 松 俊 郎	〃	(元学長)	
〃		中 川 番 三	〃		
〃		千 葉 峻 子	〃		
〃		浦 澤 价 三	〃		
〃		浦 澤 正 三	〃		
〃		端 谷 幸 夫	〃		
〃		板 望 月 洋 一	〃		
〃		小 秋 山 郁 雄	〃		
〃	(元学長)	秋 野 盛 明	〃		
〃		鬼 原 豊 彰	〃		
〃		安 倍 十 三 夫	〃		
〃		David James Magee	〃		
〃		名 取 博 之	〃		
〃		松 本 孝 一	〃		
〃		神 保 重 範	〃		
〃		宮 納 英 雄	〃		
〃		加 佐 々 木 輝 捷	〃		
〃		新 津 洋 司 郎	〃		
〃		根 本 知 子	〃		
〃		丸 山 昭 義	〃		
〃		並 木 佳 江	〃		
〃	(元学長)	稲 井 浩 三	〃		
〃		今 井 道 夫	〃		
〃		笠 井 秀 勝	〃		
〃		武 澤 田 幸 展	〃		
〃		浅 井 康 文	〃		
〃		蝦 名 美 智 子	〃		
〃		奥 宮 暁 子	〃		
			賀 藤 塚 松 齋 渡 傳 乾 佐 篠 島 森 山 黒 藤 森 吉 水 平 堤 澤 平 山 高 高 宮 辰 堀 三 下 小 今 土 松 藤 大 齋 石 長 相 加		省 弘 司 男 和 樹 一 美 志 久 明 伸 春 夫 匡 満 一 夫 義 幸 均 一 利 純 毅 篤 之 幸 嗣 俊 夫 裕 文 治 子 美 幸 夫 隆 仁 二
			佐 井 本 嶋 藤 邊 野 藤 村 本 岡 下 木 井 田 見 塚 田 田 本 田 橋 本 已 尾 浦 濱 海 井 橋 山 宮 日 藤 合 峯 馬 藤		
			伸 暢 泰 範 利 直 隆 公 昇 恭 和 利 由 博 幸 徹 博 裕 典 公 和 弘 治 嘉 哲 康 富 和 清 峯 輝 重 純 淳		

(6) 名誉博士

(令和5年10月1日現在)

名 誉 博 士	Pierre CHAMBON
---------	----------------

(7) 正職員数

(令和5年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

			計	学 長	医 学 部					保健医療学部 看護学 療法学 作業学 入試・高大連携部門	医療人育成センター				専攻科		附 属 病 院	保健 管理 センター	附属 総合情報 センター	附属 産学・地域 連携センター	事 務 局	監 査 室				
					医 学 科			医 附 属 学 研 究 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー		動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 療 学 科	作 業 療 法 学 科	教 養 教 育 研 究 部 門	教 育 開 発 研 究 部 門							統 合 I R 部 門	応 用 情 報 科 学 部 門	公 衆 衛 生 看 護 学 専 攻 科	
					学 科 目 (基礎医学部門)	学 科 目 (臨床医学部門)	講 座 (基礎医学部門)																			講 座 (臨床医学部門)
教 育 職	学 長	1																								
	学 教 授	75	2	8	12	22	5			10	5	6		4	1											
	准 教 授	62		5	7	23	4			5	2	4	1	9		1				1						
	講 師	84		6	15	40	3	1	10	4	2	1	2													
	助 教 手	172	1	16	22	114	5		7	3	1	1		1						1						
	計	401	1	3	35	57	199	18		1	36	14	14	3	15	2	1				2					
一 般 職	局 長・次 長 等	3																1			2					
	課 長等・副課長等	29																9			19	1				
	一 般 事 務 職 員	136	2															49			84	1				
	技 師	24			2		1	4	2									2			13					
	精 神 保 健 福 祉 士	2																2								
	電 頭 操 作 員	2						2																		
	司 書	3																		3						
研 究 補 助 員	1						1																			
	技 能 員	1																1								
	計 (1)	201		2		2	2	6	2									64		3	118	2				
医 療 職	獸 医 師	1							1																	
	栄 養 士	7																7								
	臨 床 検 査 技 師	55					1	2										52								
	薬 剤 師	54																54								
	診 療 放 射 線 技 師	55						4										51								
	理 学 療 法 士	18																18								
	作 業 療 法 士	7																7								
	言 語 聴 覚 士	6																6								
	臨 床 工 学 技 士	22																22								
	歯 科 衛 生 士	3																3								
歯 科 技 工 士	2																2									
	視 能 訓 練 士	2																2								
	計 (2)	232					1	6	1									224								
看 護 職	看 護 師	787																787								
	助 産 師	45																45								
	保 健 師	2																	2							
	計 (3)	834																832	2							
(1)+(2)+(3)		1,267		2		2		3	12	3								1,120	2	3	118	2				
総 計		1,668	1	5	35	59	199	21	12	4	36	14	14	3	15	2	1	1,120	2	5	118	2				

※ 役員のうち職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)3名を含む。

※ 職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目 (基礎医学部 門)		
		先 端 医 療 知 財 学	遺 伝 医 学	計
職 種				
教育職	教 准 教	1	1	2
	講 助 助		1	1
	計	1	2	3
一般職			2	2
合 計		1	4	5

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目(臨床医学部門)										
		産 科 周 産 期 科 学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 管 理 学	集 中 治 療 医 学	呼 吸 器 外 科 学	血 液 内 科 学	免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科 学	デ ィ タ リ ス タ 統 計 学 ・ 医 療 管 理 学	計
職 種												
教育職	教 准 教	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	8
	講 助 助	1		1		1	1	1	1	1	1	5
	計	2		2		2	4	2	2	1	1	16
合 計		4	1	4	2	4	7	4	4	3	2	35

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講座		講 座 (基 礎 医 学 部 門)											
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学
職 種													計
教育職	教 准 教	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	12
	講 助 助	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	2	7
	計	3	3	3	1	3	3	2	2	2	2	3	19
一般職	研 究 補 助 員	1	1	2	2	2	2	1	2	3	3	1	22
	技 術 員	1	1										1
	計	2	2	2	2	2	2	1	2	3	3	1	23
合 計		5	5	5	3	5	5	3	4	5	4	4	59

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講座		講 座 (臨 床 医 学 部 門)																		
		消 化 器 内 科 学	内 分 泌 ・ 腎 臓 ・ 代 謝 学	内 循 環 器 ・ ア レ ル ギ ー 学	腫 瘍 内 科 学	神 經 内 科 学	腺 ・ 内 分 泌 外 科 学	消 化 器 ・ 総 合 ・ 乳 学	心 臓 血 管 外 科 学	整 形 外 科 学	脳 神 經 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	外 耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 学	神 經 精 神 医 学	放 射 線 医 学	麻 酔 科 学
職 種																				
教育職	教 准 教	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	講 助 助	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1
	計	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3	3	2	2	2
一般職	研 究 補 助 員	6	8	5	4	6	6	4	4	7	4	4	8	4	5	4	5	4	3	3
	技 術 員																			
	計	6	8	5	4	6	6	4	4	7	4	4	8	4	5	4	5	4	3	3
合 計		11	12	10	8	8	12	7	10	8	11	11	11	7	7	8	9	7	7	10

カ 医学部附属フロンティア医学研究所職員数 (単位:人)

所 属 職 種		細 胞 科 学 部 門	ゲ ノ ム 医 学 部 門	組 織 再 生 学 部 門	分 子 医 学 部 門	病 態 情 報 学 部 門	神 経 再 生 医 療 学 部 門	免 疫 制 御 医 学 部 門	計
		教 授	准 教 授	講 師	助 助	助 助	助 助	助 助	計
教育職	教 授	1	1	1			1	1	5
	准 教	1	1		1		1		4
	講 師	1		1	1		1		3
	助 助		1	1	1			2	5
計		3	3	3	3		3	3	18
一般職	技 術 補 助 員	1							1
	計	1				1			2
医療職	臨 床 検 査 技 師			1					1
	計			1					1
合 計		4	3	4	3	1	3	3	42

キ 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属 職 種		看護学科 第一	看護学科 第二	看護学科 第三	理学療法学科 第一	理学療法学科 第二	作業療法学科 第一	作業療法学科 第二	計
		教 授	准 教 授	講 師	助 助	助 助	助 助	助 助	計
教育職	教 授	4	2	4	2	3	3	3	21
	准 教	2	2	1	2	2	2	2	11
	講 師	2	5	3	2	2	1	2	16
	助 助	2	4	1	1	2	1	1	11
合 計		12	15	9	7	7	7	7	64

ク 医療人育成センター職員数

所 属 職 種		入 試 ・ 高 大 連 携 部 門	教養教育研究部門 学 科 目 (教 養 教 育 科 目)								教 育 開 発 研 究 部 門	統 合 I R 部 門	応 用 情 報 科 学 部 門	計
		哲 学 ・ 倫 理 学	心 理 学	法 学 ・ 社 会 学	英 語	運 動 科 学	物 理 学	化 学	生 物 学	数 学 ・ 情 報 科 学	計	計	計	計
教育職	教 授	1	1	1	1	2		1	1	1	2	1	1	5
	准 教	1	1	1				1	1	1				11
	講 師	1									1			3
	助 助													2
計		3	1	2	1	3		2	2	2	2	1		21
一般職	研 究 補 助 員													
	計													
合 計		3	1	2	1	3		2	2	2	2	1		21

ケ 専攻科職員数

所 属 職 種		公 衆 衛 生 看 護 学 専 攻	助 産 学 専 攻	計
		教 授	准 教 授	計
教育職	教 授			
	准 教			
	講 師			
	助 助			
合 計				

コ 附属総合情報センター職員数

所 属 職 種		企 画 開 発 室	計
		教 授	計
教育職	教 授	1	1
	准 教		
	講 師	1	1
	助 助		
合 計		2	2

サ 附属病院職員数

所 属 職 種		附 属 病 院																									計	
		病 院	医 事 経 営 管 理 部	薬 剤 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	集 中 治 療 部	医 療 安 全 部	感 染 制 御 部	看 護 部	臨 床 工 学 部	医 療 連 携 福 祉 セ ン タ ー	栄 養 管 理 セ ン タ ー	看 護 セ ン タ ー 臨 床 研 修 ・ 医 師 キ ャ ー リ ア 支 援 セ ン タ ー	治 験 セ ン タ ー	産 科 周 産 期 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 経 精 神 科	歯 科 口 腔 外 科	遺 伝 子 診 療 科		
一 般 職	局 長 ・ 次 長 等 課 長 等 ・ 副 課 長 等 一 般 事 務 職 員 精 神 健 福 士 師 員 技 術 補 助 員 薬 剤 補 助 員 看 護 調 理 員	1 3 24	4 15				2										1 10	1							2			1 9 49 2 2 1
	計	28	19			2	1										11	1					1			2		64
医 療 職	臨 床 検 査 技 師 薬 剤 放 射 線 技 師 診 療 放 射 線 法 士 理 学 療 法 法 士 作 業 語 聴 訓 士 言 理 臨 床 工 学 士 臨 歯 科 衛 生 技 士 歯 科 衛 生 技 士 歯 科 衛 生 技 士			53	46	5	51			18 7 3			1									1			3			52 54 51 18 7 6
	計			53	46	5	51		28			1	2	2	760 45	22		7				1	2	3		5		22 3 2 2 7
看 護 職	看 護 師 助 産 師 准 看 護 師		2							1		2	2	2	805 45	12			4	3							1	787 45
	計		2						1		2	2	2	805	12				4	3							831	
合 計		28	21	53	46	7	52		28	1		3	2	805	22	23	8		4	3	1	2	3	2	5		1,119	

シ 事務局職員数		(単位:人)						
所 属	職 種	事 務 局						
		局 長・ 次 長 等	総 務 課	管 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	研 究 支 援 課	計
一 般 職	局長・次長等	2						2
	課長等・副課長等		4	5	3	4	3	19
	一般事務職員		28	9	15	21	11	84
	技師 技守 研究補助員 技師 ボイラー技師			12		1		13
合 計		2	32	26	18	26	14	118

※ 兼務の職員を除く。

(8) 主な研究題目

ア 医学部

学 科 目 (基 礎 医 学 部 門)	先 端 医 療 知 財 学	1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 2 再生医療における細胞や組織の知的財産 3 手術・治療方法の知的財産 4 革新的技術の有効な特許保護 5 医学研究分野における産学連携システムの構築 6 臨床試験データの財産的活用 7 再生医療技術開発における共通基盤確立に向けた研究
	遺 伝 医 学	1 人類遺伝学および細胞遺伝学に関する研究 2 染色体異常や多因子遺伝病の背景と遺伝診断、遺伝カウンセリングに関する研究 3 遺伝性腫瘍の診断と治療に関する研究 4 先天奇形症候群の診断と治療に関する研究 5 診断不確定の稀少疾患の遺伝学的診断に関する研究 6 がんゲノム医療に関する研究 7 遺伝医療に関連する倫理的・法的・社会的問題に関する研究 8 遺伝学、遺伝医学についての社会啓発に関する研究
学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	産 科 周 産 期 科 学	1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 子宮頸癌の子宮温存術後の妊娠と子宮内感染予防の研究 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	医 療 薬 学	1 分子標的抗がん剤の適正使用に関する臨床薬理研究 2 免疫チェックポイント阻害剤の適正使用に関する臨床薬理研究 3 薬物体内動態と薬効の個人差に関する基礎研究 4 ゲノム情報を活用した精密医療の開発研究 5 医薬品の医療経済的評価に関する調査研究
	病 理 診 断 学	1 骨軟部腫瘍の腫瘍発生および悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の開発・導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	放 射 線 診 断 学	1 PET、CTおよびMRI情報に基づく悪性度評価・治療効果/予後予測 2 画像データの再現性検証 3 画像診断検査における画像の適正化 4 SPECTのSUV解析に基づく病態予測
	病 院 管 理 学	1 大学病院を中心とした病院経営指標の確立とこれに基づく適性人的および経済的資源配置の研究 2 多施設ベンチマークデータ集積による医療効率と疾患傾向の策定に関する研究 3 病院情報の集積と教育手段としての有効な二次利用法の方策の研究 4 医療効率よりの病・病（診）連携のありかたと多施設検討のための集積と分析ソフトウェア開発 5 医療プロセス分析による多職種作業分担の研究 6 ICTを利用した卒前・卒後の医学教育と診療支援
	集 中 治 療 医 学	1 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理ならびに治療に関する研究 2 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 3 重症患者における急性血液浄化療法に関する基礎的、臨床的研究 4 重症急性呼吸不全に関する分子生物学的研究 5 高度侵襲および敗血症における消化管機能ならびに栄養に関する臨床的研究

学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	呼 吸 器 外 科 学	1 肺癌術後の残存肺における気腫性変化の研究 2 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 3 胸部疾患に対する胸腔鏡及びびロボット支援による手術適応拡大の研究 4 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究 5 肺癌における癌遺伝子に関する研究
	血 液 内 科 学	1 造血幹細胞の細胞周期およびDNA修復機構破綻による遺伝子変異と癌化の解明 2 血液・腫瘍幹細胞および骨髓微細環境による腫瘍形成と薬剤耐性機構の解析 3 造血器腫瘍のバイオインフォマティクスを用いたデータ集積および解析法 4 移植・腫瘍免疫を制御する分子機構からみた新規の造血・免疫細胞療法の開発 5 クリニカルシーケンスデータからみた悪性リンパ腫の薬剤耐性遺伝子群の解析 6 ゲノム編集および細胞リプログラミング法を用いた血液腫瘍幹細胞の解析
	免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科 学	1 関節リウマチの早期診断・治療に関する研究 2 全身性強皮症の早期診断・治療に関する研究 3 IgG4関連疾患の病因・病態の解明と新規治療法の開発 4 ステロイド性骨壊死の予防法に関する研究 5 膠原病診療における生物学的製剤の有効活用に関する研究 6 全身性エリテマトーデスの病因・病態の解明と新規治療法の開発
	医 療 統 計 ・ デ ー タ 管 理 学	1 レセプトデータベースを用いたビッグデータ解析 2 診療ガイドライン作成支援と論文の評価 3 文献検索結果の統合と分析 4 システマティックレビューの方法論と実践 5 データマネジメントと統計解析結果の検討
講 座 (基 礎 医 学 部 門)	解 剖 学 第 一 講 座	1 脂肪滴の異所性形成と機能に関する研究 2 神経軸索障害における細胞内小器官の動態解析 3 神経細胞における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 4 大脳皮質投射ニューロンの樹上突起形態形成と機能発現の解析 5 胎生期の栄養環境と出生後の疾患リスクとの関連の解明
	解 剖 学 第 二 講 座	1 炎症性腸疾患の病態解明と間葉系幹細胞治療に関する研究 2 骨代謝疾患の幹細胞治療に関する研究 3 間葉系幹細胞を用いたアルツハイマー型認知症の治療 4 生活習慣や心理的側面に焦点を当てた認知症予防効果の解明 5 細胞老化に伴う組織の再生と変性メカニズムの探索 6 慢性炎症に着目した糖尿病性潰瘍の新規治療法開発
	細 胞 生 理 学 講 座	1 胚における心拍動開始と維持のメカニズムの解明 2 発生と老化における鉄代謝の役割の解明 3 各種病態モデルにおけるミトコンドリア機能解析 4 中枢性疲労と末梢性疲労の生理学的特徴の解明とバイオマーカーの確立 5 筋力トレーニングにおける代謝変化と炎症の役割の解明
	神 経 科 学 講 座	1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医 化 学 講 座	1 タンパク質の翻訳後修飾による構造制御・機能制御 2 糖鎖によるシグナル制御メカニズム 3 糖鎖の定量的構造解析の開発 4 肺サーファクタントタンパク質の生理活性解析 5 上気道疾患の病態生化学 6 疾患プロテオミクス

講 座 （ 基 礎 医 学 部 門）	分 子 生 物 学 講 座	1 癌のエピジェネティクス（DNAメチル化とヒストン修飾） 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌における非コードRNAの異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析 7 腫瘍微小環境の解析
	病 理 学 第 一 講 座	1 腫瘍免疫分子機構の解明とがん免疫療法への応用 2 がん幹細胞の免疫分子生物学 3 アレルギー・自己免疫疾患の病歴 4 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、ヒト難治性疾患 5 抗原処理提示の分子機構 6 細胞ストレス応答機構 7 悪性リンパ腫の分子病理学 8 遺伝子診断と分子病理診断
	病 理 学 第 二 講 座	1 さまざまな臓器や組織におけるタイト結合に関する研究 2 生体バリアを担うタイト結合の機能・分子病理学 3 がんにおけるタイト結合の機能異常の理解 4 細胞接着の観点から理解する細胞の極性形成機構の解明 5 タイト結合の機能失調に起因する「タイト結合病」の理解とその機能制御による疾患治療法の開発 6 星細胞を起点として理解する多彩な病態と新しい治療戦略の創出 7 遺伝子組み換え動物を用いた疾患モデルの作製
	微 生 物 学 講 座	1 ウイルス感染による自然免疫情報伝達系の攪乱機構 2 ウイルス複製にかかわる宿主因子の探索 3 新しい作用機序に基づく抗ウイルス薬、抗菌薬の探索 4 抗菌薬が有する抗菌活性以外の薬理作用 5 病原体関連分子パターン（PAMPs）の構造、生物活性、抗原性 6 抗菌薬耐性菌の耐性機構、分子疫学
	薬 理 学 講 座	1 心疾患における加齢や併存疾患の役割に関する研究 2 筋ジストロフィーやサルコペニアの病態解明と治療への応用 3 オートファジーの分子機構に関する研究 4 皮膚の老化における細胞老化の役割解明 5 抗がん剤の副作用の病態解明と治療への応用 6 プログラム細胞死の調節機構と病態への関与の解明
	衛 生 学 講 座	1 病原ウイルスの分子疫学 2 ブドウ球菌（MRSAを含む）、肺炎球菌、その他病原細菌の分子疫学 3 感染性微生物の病原因子・薬剤耐性遺伝子に関する分子遺伝学 4 開発途上国における感染性微生物の分子疫学 5 口腔機能管理向上のための基礎的研究
	公 衆 衛 生 学 講 座	1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 3 小児リハビリテーションにおける評価尺度の開発 4 職場におけるストレスと精神的健康度に関する予防医学的、疫学的研究 5 地域住民や学童に対する予防教育介入研究 6 情報伝達方法に関する研究
	法 医 学 講 座	1 各種病態における死後画像診断基準の策定 2 死後画像を用いた個人識別法の開発 3 薬物乱用に至るメカニズムの検討

講座（臨床医学部門）	消化器内科学講座	1 免疫制御機構からみた消化器疾患の病態解明 2 消化器疾患ならびに種々の疾患における腸内細菌叢および便中カルプロテクチンの検討 3 オルガノイドを用いた消化管疾患の病態解明 4 炎症性腸疾患における炎症活動性マーカーの探索 5 炎症性腸疾患におけるgut-lung axisに関する研究 6 炎症性腸疾患の再燃予測を目的としたオミクススコア開発 7 活動性潰瘍性大腸炎における治療エビデンスの構築 8 MEFV遺伝子関連腸炎の診断法の確立 9 サイトメガロウイルスに対する免疫応答判定法の新規開発 10 インフラマソーム関連腸炎の病態解明ならびに診断法確立 11 腸管ペーチェット病および単純性潰瘍に関するゲノム疫学的解析 12 腸炎関連大腸がんの発生病序の解明 13 潰瘍性大腸炎粘膜治癒の定量的判定を目指した内視鏡画像解析装置の開発 14 大腸鋸歯状病変に対する拡大内視鏡診断精度に関する研究 15 炎症性腸疾患の活動性に対する超音波検査による評価法の確立 16 大腸内視鏡検査の検査支援機能に関する研究 17 B型肝炎およびC型肝炎における拾い上げ効果の検討 18 肝硬変におけるサルコペニアと骨代謝に関する検討 19 肝細胞がんに対する分子標的治療薬および免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測と耐性機序の解明 20 低分子量GTP結合蛋白質と肝炎の線維化およびがん化に関する研究 21 脂肪性肝疾患から肝がんへの進展に関する病態解明 22 胆道がんにおける微小環境の病態解明 23 切除可能境界膜がんにおける術前治療に関する検討 24 自己免疫性膵炎（IgG4関連疾患）に対する新規治療法の開発 25 自己免疫性膵炎に対するEUS-FNAによる診断能に関する検討 26 膵管内乳頭粘液性腫瘍観察時における新規マーカーの探索 27 消化器がんにおけるCardio-Oncology 28 新型コロナウイルス感染と消化管粘膜障害および血栓形成の機序解明
	循環器・腎臓・代謝 内分泌内科学講座	1 高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病腎症の成因・病態に関する基礎的・臨床的・疫学的研究 3 脂肪酸結合タンパクファミリーの役割に関する基礎的・臨床的・疫学的研究 4 代謝異常関連脂肪性肝疾患と心血管・腎疾患のクロストークに関する研究 5 高尿酸血症を含む各種疾患におけるキサンチンオキシダーゼ活性の検討 6 人工知能による機会学習を利用した心血管・腎・代謝疾患の予防に関する研究 7 肥満症に関する基礎的・臨床的・疫学的研究 8 血管周囲脂肪組織に関する基礎的・臨床的研究 9 Cardio-oncologyに関する研究 10 生活習慣病に関連した各種眼疾患に関する研究 11 原発性脂質異常症に関する研究 12 心臓MRIに関する研究 13 糖尿病性心血管合併症の病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 14 虚血性心疾患の病態・薬物療法に関する多施設共同登録研究 15 虚血性心疾患のカテーテル治療に関する基礎的・臨床的研究 16 心筋細胞死（ネクロシス、アポトーシス、ネクロプトーシス）の機序に関する基礎的研究 17 慢性心不全の進行に寄与する心筋代謝障害とその制御シグナルの解明 18 急性心不全の治療に関する臨床的研究 19 肺高血圧症の病態と治療に関する研究 20 心房細動の成因・病態に関する臨床的研究 21 不整脈の侵襲的治療法に関する臨床的研究 22 急性腎障害の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	循環器・腎臓・代謝 内分泌内科学講座	23 腎生検に関する多施設共同登録研究 24 腎不全の病態におけるオートファジーの役割に関する基礎的・臨床的研究 25 心臓リハビリテーションの効果を規定する因子の解析と治療への応用
	呼 吸 器 ・ ア レ ル ギ ー 内 科 学 講 座	1 間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺癌の診断、病態、予後因子、治療に関する研究 3 気管支喘息の診断、病態、治療に関する研究 4 過敏性肺炎、職業病性肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 5 各種呼吸器感染症、結核の診断、病態、治療に関する研究 6 慢性閉塞性肺疾患、閉塞性細気管支炎の診断、病態、治療に関する研究 7 難治性呼吸器疾患、稀少肺疾患の原因探索と新規治療法の研究 8 環境要因と呼吸器疾患の関わりについての研究 9 肺自然免疫と呼吸器疾患の関わりについての研究 10 胸部画像診断技術の複合的応用に関する研究 11 新規医療技術の呼吸器疾患診断への応用に関する研究
	腫 瘍 内 科 学 講 座	1 固形癌に対する新規治療法の開発 2 食道癌に対する新規化学療法の開発 3 胃癌に対する新規化学療法の開発 4 大腸癌に対する新規化学療法の開発 5 膵癌に対する新規化学療法の開発 6 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 7 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 8 肝細胞癌に対する新規全身薬物療法の開発 9 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 10 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 11 悪性骨軟部腫瘍に対する新規治療法の開発
	神 経 内 科 学 講 座	1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症におけるニューロン死の機序の解明、細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 中枢神経変性疾患における末梢神経変性過程の研究 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症およびICUAWにおける興奮収縮連関障害の解明 6 神経筋疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRTファミリーの機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの保護・再髄鞘化に関する研究 8 神経変性疾患関連遺伝子の検索 9 中枢神経炎症性脱髄疾患における細胞外小胞エクソソーム解析とその臨床応用 10 脳卒中及び認知症の医療と福祉に関わる多職種の卒前卒後教育システムの開発 11 北海道における老年医療と看護、介護における広域連携システムの構築 12 脳卒中医療における超音波診断法の開発と人材育成 13 神経疾患発症機序と消化管吸収効率関連解析 14 神経分泌機能の解析 15 重症筋無力症の病的運動終抜におけるニコチン性アセチルコリン受容体の機能解析 16 神経疾患患者を対象とした腸管透過性の疫学研究
	消 化 器 ・ 総 合、 乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科 学 講 座	1 IOT実用化に関するリアルタイム映像配信と相互システムの開発 2 膵癌切除症例における早期再発に関与する surrogate marker の探索的研究 3 術中インドシアノグリーン蛍光診断法を用いた肝切除術の確立 4 胆道再建を伴う肝葉切除以上を要する症例における残肝予備能評価法の妥当性に関する多施設共同観察研究 5 腹膜移転を有する膵がんに対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の無作為化比較第Ⅲ相多施設共同臨床研究（SP study） 6 肝胆膵領域における新規低侵襲手術術式の開発に向けた臨床研究 7 腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対し切除の是非を明らかにするための比較研究

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門）	消化器・総合、 乳腺・内分泌 外科学講座	8 肝胆膵がんのゲノム異常モニタリングと患者アウトカムに関連する観察研究
		9 乳癌のリンパ節転移における免疫抑制に関する観察研究
		10 転移再発乳がんにおけるエリブリンのがん微小環境に対する作用メカニズムの解明と予後の解析
		11 若年乳がん患者の妊孕性温存に対する関心と需要に関する研究
		12 トリプルネガティブ乳癌におけるER01-Laをターゲットとする免疫複合療法の開発
		13 術前化学療法施行症例における乳房造影超音波検査の有用性
		14 遺伝性乳がんに対する多診療科と連携した治療体制の確立
		15 肥満外科手術に関する臨床研究
		16 胃癌手術におけるロボット手術の有用性に関する臨床研究
		17 胸腔鏡下食道手術における低侵襲性に関する臨床研究
		18 胃・食道癌手術時のICG蛍光法による血流評価に関する臨床研究
		19 胃癌の浸潤性獲得に関する基礎研究
		20 周術期栄養状態と生体侵襲との関連についての臨床研究
		21 腹腔鏡下胃手術の定型化と教育法に関する研究
		22 高度進行胃・食道癌に対する抗癌剤治療後根治術の安全性・有用性に関する検討
		23 StageII, III直腸がんに対する腹腔鏡手術におけるCRMとTME評価に関する前向きRegistry研究
		24 「StageII, III直腸がんに対する腹腔鏡手術におけるCRMとTME評価に関する前向きRegistry研究」 対象症例の長期予後に関する研究
		25 吸収性組織補強材付自動縫合器を用いた直腸切除術の多施設共同前向き観察研究
		「吸収性組織補強材付自動縫合器を用いた直腸切除術の多施設共同前向き観察研究」の付随研究
		26 「吸収性組織補強材付自動縫合器を用いた直腸切除術の多施設共同前向き観察研究」 対象症例の長期経過に関する研究
		27 進行直腸癌に対するロボット支援下直腸切除術の腫瘍学的妥当性に関する多施設共同、前向きregistry研究
		28 根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究（GALAXY trial）
		29 血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II及び低リスクStage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての CAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験（VEGA trial）
		30 血中循環腫瘍DNA陽性の治療切除後結腸・直腸がん患者を対象としたFTD/TPI療法とプラセボとを比較する 無作為化二重盲検第III相試験（ALTAIR study）
		31 腹腔鏡下直腸癌手術後の縫合不全予防に対する近赤外光観察を用いた腸管血流評価の有効性に関する ランダム化比較試験
		32 近赤外光を用いた大腸癌の局在およびドレナージリンパ流確認に関する有効性の研究
		33 直腸がんに対する経肛門的低侵襲手術（TAMIS:Trans-anal Minimally Invasive Surgery） の安全性と有効性の検討
		34 経肛門的全直腸間膜切除術（TaTME）後の合併症、生活の質、機能転機に関する前向き臨床研究
		35 人工知能を用いた直腸癌MRI画像診断支援技術開発に関する研究
		36 大腸がん幹細胞標的免疫療法の安全性と有効性の評価 -進行大腸がんを対象としたがん幹細胞標的免疫療法の多施設共同 第1/2相臨床試験-
		37 直腸がん術後の主観的排便QoL指標としての日本語版LARS score (jpLARSS) の評価に関する 多施設共同前向き観察研究
		38 根本的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究
		39 切除可能結腸癌に対するロボット支援下結腸切除術の安全性に関する検討 -多施設共同、前向き、 ヒストリカルコントロール、feasibility 研究-
		40 直腸癌に対するロボット支援下手術に関する研究
		41 腹腔鏡手術のポート刺入部の腹壁閉鎖時におけるVersaOne Fascial Closure システムを使用した前向き 観察研究
		42 MRIおよびctDNAを用いた複合評価による進行直腸癌の再発リスク診断に関する前向き観察研究
		43 直腸癌・肛門癌に対する鏡視下腹会陰式直腸切除術2-team approachに関する前向き観察研究
		44 一時的回腸瘻造設時における癒着防止吸収性バリア巻き付け法の癒着防止効果の検討
		45 後期高齢者低位直腸癌（高リスクpT1、低リスクpT2）に対する標準的治療を評価する多施設共同前向き 観察研究
		46 術前3DCT検査における静脈血管の造影タイミングを最適化するための前向き研究
		47 単径ヘルニアに対するロボット支援下単径ヘルニア根治術の有用性に関する検討
		48 大腸癌手術後の消化管機能異常に対する術前を含めた周術期TJ-100内服の安全性と有用性の評価
		49 局所進行直腸癌患者に対する術前化学療法の有効性および安全性の検討

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門）	消化器・総合、 乳腺・内分泌 外科学講座	50 StageII/IIIおよびCROSS1/2の閉塞性大腸癌に対するBridge to Surgery (BTS) 大腸ステントの長期予後に 関する多施設共同無作為化臨床試験 (COBRA trial) 51 便失禁に対するBiofeedback療法の前向き多施設共同臨床研究 52 National Clinical Database解析による内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）を用いた腹腔鏡下直腸手術の安全性と 有効性に関する研究(NCD_RoRecS) 53 StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における 5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 54 直腸がん術後遠隔転移ハイリスク症例の層別化に向けたtumor(トゥモール) deposit(デポジット)の 術前MRI画像診断に関する後ろ向き観察研究 55 腹腔鏡下大腸癌手術時の、吻合部腸管血流に関する臨床研究 56 StageⅢb大腸癌患者治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法と TS-1/Oxaliplatin療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 57 直腸切除術前バイオフィードバック療法施行例の術後排便障害に関する前向き観察研究 58 大動脈周囲リンパ節転移に関する研究 59 Stage II、Ⅲ下部直腸癌の手術治療に関する前向き観察研究 60 局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び 短期放射線療法とCAPOXIRIの 多施設共同ランダム化第Ⅲ相試験 61 ロボット支援超低位前方切除術又は経肛門吻合を伴うロボット支援直腸切除術の手術成績に関する 後ろ向きコホート研究 62 Stage II/Ⅲ大腸癌根治切除後の補助化学療法中または治療後に早期再発したRAS野生型かつ BRAF V600E変異再発大腸癌患者に対するエンコラフェニブ+ビニメチニブ+セツキシマブ療法の有効性と 安全性を探索する第Ⅱ相試験 (TRESBIEN試験) 63 切除可能な大腸癌肝転移及びその他の遠隔臓器転移に対する遺伝子異常に基づく個別化周術期治療の開発を 目的とした多施設共同研究 64 微細解剖の術中リアルタイムな視覚化に関するAIシステムの研究開発 65 hinotoriTMを用いたロボット支援大腸手術の有用性に関する観察研究 66 切除不能または再発乳がんにおけるT-DXd治療期間中のePROモニタリングの有用性を検討するランダム化 比較試験 PRODUCE試験 (CSPOR-BC) 67 AC療法に対する標準制吐療法へのオランザピン5mg追加効果検証試験 (ランダム化比較試験) 68 LigasureTM Exact Dissectorを用いた乳がん手術の後ろ向き観察研究 (Sugar Raised Doughnuts study) 69 遠隔転移を有するまたは再発膀胱癌に対するゲムシタビン+ナブパクリタキセル併用療法/modified FOLFIRINOX療法/S-IROX療法の第Ⅱ/Ⅲ相比較試験 (JGOG1611) 70 切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタビン+シスプラチン+S-1 (GCS) 療法の 第Ⅲ相試験 (JCOG1920) 71 切除可能膀胱癌に対する腹腔 鏡下膀胱体尾部切除術の開腹膀胱体尾部切除術に対する非劣性を検証するランダム化 比較第Ⅲ相試験 (JCOG2202) 72 腹腔洗浄細胞診陽性膀胱癌に対する全身化学療法の有効性を検証するための多施設共同第Ⅱ相試験 (WALCURE trial) 73 術前補助化学療法後の膀胱癌手術における至適リンパ節郭清範囲を決定するための前方視的介入研究
	心 臓 血 管 外 科 学 講 座	1 心臓血管外科手術後に脊髄虚血を発症した患者に対する後方視的検討 2 胸部大動脈ステントグラフト治療の予後とフレイルの関連性についての検討 3 胸部ステントグラフト留置術後に開胸手術への移行を必要とした症例についての研究 4 4D Flow MRIを用いた大動脈弁置換術後の形態評価 5 孤立性内腸骨動脈瘤に対する動脈塞栓およびステントグラフト脚留置併施術の成績に関する検討 6 急性A型解離術後残存解離に対するリモデリング予測のための形態解析 7 閉塞性動脈硬化症患者に対するステントグラフトを用いた血管内治療の安全有効性に関する多施設後ろ向き研究 8 加工したステントグラフトを用いた大動脈疾患における多施設後ろ向き観察研究 9 胸腹部大動脈瘤に対する血管内治療(ステントグラフト内挿術)についての研究 10 胸部大動脈瘤術後の虚血性脊髄障害に対する間葉系幹細胞を用いた治療法の開発 11 冷却度解析を中心とした低体温循環停止術後の痙攣発症リスクに関する後ろ向き観察研究 12 冠動脈疾患を有する患者における内胸動脈および冠動脈の血管周囲脂肪組織の性質の違いに関する研究 13 腹部大動脈瘤を有する患者における大動脈周囲脂肪組織の性質の違いに関する研究

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	整 形 外 科 学 講 座	1 骨髄間葉系幹細胞を用いた脊髄再生研究 2 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫ワクチン療法の開発 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する電気生理学的研究 6 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 7 骨量に影響を及ぼす諸因子の研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 3D鋳型を用いた手術手技の開発 11 新しい人工膝関節置換術の適切な手技の開発 12 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 13 スポーツ障害と外傷の予防と治療 14 骨軟部腫瘍における再発・予後因子に関する研究
	脳神経外科学講座	1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 血管内手術の基礎的研究 5 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 6 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 7 てんかんの病態・治療の研究 8 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 9 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 10 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 11 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 12 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 13 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 14 スtentを用いた脳動脈瘤治療の研究 15 もやもや病の画像診断に関する研究 16 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究
	産 婦 人 科 学 講 座	1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と代謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 子宮内膜症の分子生物学的検討 8 卵巣癌での薬剤耐性克服 9 婦人科癌細胞の運動能と転移能に関する研究
	小 児 科 学 講 座	1 ウイルス性胃腸炎の疫学と病態解明 2 RSウイルス感染症の病態解明 3 パルボウイルスB19感染の病態多様性と機構 4 造血幹細胞移植後のウイルス再活性化の解析 5 造血幹細胞移植におけるGVHDの診断と病態解明 6 難治性てんかんに対する間葉系幹細胞治療 7 各種アレルギー疾患の検査手法と新規治療 8 心疾患に対するインターベンション治療 9 慢性腎疾患に対する間葉系幹細胞治療 10 新生児脳障害に対する骨髄間葉系幹細胞治療 11 小児期発症バセドウ病のT3優位型の臨床的特徴の解析

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	眼 科 学 講 座	1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 増殖性網膜疾患の病態及び治療研究 3 緑内障の病態に関する研究 4 結膜線維化の病態及び治療研究 5 強度近視の病態に関する研究 6 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 7 眼窩部脂肪組織に関する研究 8 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮 膚 科 学 講 座	1 メラニン合成の生化学的および分子生物学的研究 2 色素性乾皮症の遺伝子診断と紫外線発癌の研究 3 悪性黒色腫（メラノーマ）の遺伝子異常とリキッドバイオプシー 4 悪性黒色腫の腫瘍免疫 5 アトピー性皮膚炎とサイトカイン 6 炎症性皮膚疾患と喫煙
	泌 尿 器 科 学 講 座	1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 排尿障害の基礎的・臨床的研究 5 尿路感染症・性感染症の疫学的研究と臨床的研究 6 尿路再生・再生医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外 科 学 講 座	1 高度感音難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍の病態・治療法に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究 10 内耳有毛細胞再生に関する研究
	神 経 精 神 医 学 講 座	1 リエゾン精神医学・緩和医療学、精神腫瘍学領域の臨床研究 2 一般救急・精神科救急における自殺関連行動に対する介入モデル開発研究 3 認知症の病態、経過、精神症候に関する研究 4 性別違和・性不合に関する臨床研究 5 地域精神保健とメンタルヘルス・リテラシー研究 6 自殺関連行動に関する行動科学・社会精神医学研究 7 職域、教育機関、医療機関におけるメンタルヘルス・プロモーションに関する研究 8 精神疾患の病態に関する脳神経回路網の修復・再生機構の研究 9 神経幹細胞を用いた精神疾患のバイオマーカーと治療法の開発研究 10 精神疾患の急性期作業療法研究

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	放 射 線 医 学 講 座	<治療部門> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 3 悪性腫瘍に対するIVR及び化学・放射線併用療法の研究 4 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 5 DNA修復能測定による放射線治療の有害事象の予測に関する研究 6 高精度放射線治療に関する研究 7 画像誘導放射線治療に関する研究 8 放射線治療効果と腫瘍免疫に関する研究 <IVR部門> 1 末梢動脈瘤に対する経済効果を加味した新しい塞栓術の開発 2 胆道・膵疾患における造影超音波診断能の後方視的研究 3 物理的合併症回避につながる中心静脈安全穿刺に関する研究
	麻 酔 科 学 講 座	1 人工呼吸器関連肺障害における肺血管内皮グリコリックス障害と好中球細胞外トラップ形成に対するリコンビナントトロンボモジュリンおよびリコンビナントアンチトロンビンの有効性の検証 2 周術期心筋障害の病態解明と制御法の検討 3 体外循環による腎機能障害に対する亜硝酸塩の腎保護効果の検討と分子機序の解明 4 虚血際還流障害に対するデクスメデトミジンの心筋保護作用 5 レミマゾラムの循環動態への影響 6 新規全身麻酔薬レミマゾラムが人工心肺後の脳内神経炎症に及ぼす影響の解明 7 新規鎮静薬レミマゾラムの胎盤移行性と乳汁移行性に関する検討 8 全身麻酔・手術操作における腸内細菌叢の変化と術後せん妄の関連性の解明 9 腸内細菌叢の制御による幼若脳麻酔薬神経毒性の予防法の検討 10 慢性期虚血性脊髄障害に対する骨髄間葉系細胞の治療効果の検討 11 子宮筋収縮に対する麻酔薬の影響と機序の解明 12 周術期体温管理の基礎的・臨床的検討 13 低侵襲血行動態モニタリングと術中低血圧 14 声門上器具の有効性に関する検討 15 周術期院内感染対策を目的としたサーベイランス及び改善方の検討
	総 合 診 療 医 学 講 座	1 Common diseases の診断とマネージメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究 6 生活習慣病に関する研究
	感 染 制 御 ・ 臨 床 検 査 医 学 講 座	1 医療関連感染に関する細菌の遺伝子型別法の応用 2 内分泌物質の高感度検出法の開発 3 医療関連感染に関するサーベイランス調査 4 血液培養検査の迅速検出に関する検討 5 尿臭の分析 6 尿の酸素飽和度・二酸化炭素飽和度に関する検討 7 グラム染色鏡陰性と培養の関連に関する検討 8 インフルエンザウイルス迅速検出法に関する検討 9 SARS-CoV-2検出法（新規核酸増幅法、抗原検出法、抗体測定法）の検討 10 脂肪性肝疾患における新規バイオマーカーの探索

講座（臨床医学部門）	救急医学講座	1 重症呼吸不全に対するECMOと人工呼吸に関する研究 2 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の研究 3 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の研究 4 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 5 高度侵襲時の生体防御反応に関する研究 6 中毒薬理に関する研究 7 病院前救護体制に関する研究 8 航空機による救急搬送体制の研究 9 災害医療に関する研究 10 救急医療領域における社会医学的研究
	口腔外科学講座	1 口腔癌の免疫療法に関する研究 2 口腔癌に対する超選択的動注化学療法併用放射線治療の臨床病理学的研究 3 口腔癌の微小環境における浸潤・転移機序ならびに抗がん薬耐性獲得機序に関する研究 4 顎顔面形態と顎機能からみた顎変形症の診断と治療に関する研究 5 下顎水平埋伏智歯の画像診断と下歯槽神経麻痺を回避するための骨切り抜歯法に関する研究 6 口腔癌の予後因子、バイオマーカーに関する研究 7 口腔癌のゲノム解析と個別化医療に関する研究 8 口腔癌とサルコペニア、がん悪液質に関する研究
	リハビリテーション医学講座	1 三次元動作分析による治療効果判定に関する研究 2 慢性疼痛のメカニズム論に基づく薬物・運動療法に関する研究 3 認知症における生活機能維持へのアプローチに関する研究 4 脳腫瘍手術例における高次脳機能と予後予測に関する研究
	形成外科学講座	1 難治性皮膚潰瘍に対する再生医療を応用した治療法の開発 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 4 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 5 顔面組織再建法の開発 6 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
医学部附属フロンティア医学研究所	細胞科学部門	1 ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明 2 ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究 3 炎症・アレルギー・がんに共通に関与がみられる新規細胞間接着分子の同定 4 肥満によるがんの悪性化機構の解明 5 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明 6 軸索ガイダンス分子の発現機能解析
	ゲノム医科学部門	1 ヒトがんの発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の網羅的変異解析と個別化医療への応用 3 がんにおける細胞周期チェックポイント異常の解析 4 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立 5 次世代シーケンスによるがんゲノム解析
	組織再生学部門	1 肝前駆細胞の増殖・分化・成熟化の機序の解明 2 肝幹・前駆細胞及び間葉系細胞移植による肝疾患治療のための基礎的研究 3 内在性肝前駆細胞の活性化機序の解明 4 肝臓の3次元組織構造形成の制御機構についての研究 5 生体外における肝組織の再構築 6 胆道疾患の病態解明
	分子医学部門	1 肺癌の分子病理学的研究 2 特発性肺線維症の発症・進展機構の解明 3 周皮細胞の細胞生物学的解析 4 正常末梢肺上皮幹細胞の細胞生物学的解析

医学部附属フロンティア医学研究所	病態情報学部門	—
	神経再生医療学部門	1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	免疫制御医学部門	1 濾胞ヘルパーT細胞の分化・機能調節・免疫記憶機構の研究 2 抗原特異的な抗体産生機構の研究 3 ヒト免疫病態におけるエピイムノーム（上皮細胞と免疫細胞のクロストーク）の研究 4 癌・免疫・アレルギー病態における機能性リンパ球サブセットの探索と臨床への応用
動物実験施設部		1 ブドウ球菌の宿主特異性に関する研究 2 ブドウ球菌のゲノム進化に関する研究 3 ブドウ球菌の薬剤耐性に関する研究 4 皮膚常在細菌叢と皮膚生理との関連 5 疾患と腸内細菌叢との関連

看護学 科	看護学第一講座	<基礎看護学> 1 基礎看護学の教育に関する研究 2 看護技術の根拠と効果に関する研究 3 病院環境における臭気の包括的評価に関する研究 4 看護倫理に関する研究 5 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 <成人看護学> 1 急性・重症患者看護とその教育に関する研究 2 成人看護学における学習評価に関する研究 3 慢性病患者・がん患者の病いに関する研究 <外科学> 1 消化器、乳腺領域における手術療法に関する研究 2 癌の集学的治療に関する研究 3 患者の幸せを追求する研究 4 AIを利用した医療インフラの開発研究 <感染管理・感染看護学> 1 感染症・易感染症患者の看護に関する研究 2 感染症対策に関する研究
	看護学第二講座	<助産・母性看護学> 1 助産師の経験学習に関する研究 2 周産期のレセプト分析に関する研究 3 周産期メンタルヘルスに関する研究 4 周産期医療体制における看護管理に関する研究 5 助産師のキャリア形成と実践能力向上に関する研究 6 助産師教育のカリキュラム評価に関する研究 7 NICUにおける母乳育児支援に関する研究 8 更年期女性の健康支援に関する研究 <地域看護学> 1 子ども虐待予防と父親支援プログラムの開発に関する研究 2 母子支援に携わる保健師および助産師の連携・協働に関する研究 3 在宅看護過程、在宅看護アセスメントに関する研究 4 保健医療福祉の制度・政策の評価に関する研究 5 災害下における訪問看護師の相互支援とリスクコミュニケーションに関する研究 6 在宅緩和ケアに関する研究 <公衆衛生学> 1 社会調査の手法、統計学的方法に関する研究 2 学習・教育方略とその評価に関する研究 3 医療専門職の専門性、専門職連携に関する研究 <周産期医学> 1 妊孕能温存に関する研究
	看護学第三講座	<小児看護学> 1 小児看護学とその教育に関する研究 2 小児を対象とした喫煙防止教育と評価に関する研究 3 先天性心疾患をもつ子どもの主体性に関する研究 4 幼児が医療の経験を通じて「がんばった」と実感できる看護ケアに関する研究 <老年看護学> 1 高齢者のせん妄の予防ケアとその教育に関する研究 2 認知症高齢者とその家族への看護に関する研究 3 軽症脳卒中患者の再発予防に関する研究 <精神看護学> 1 精神障害を抱える親と子どもへの看護に関する研究 2 保健医療福祉分野における“応援”に関する研究 3 精神障害領域のピアサポーターと精神科看護師の共同に関する研究

看護学科	看護学第三講座	<内科学> 1 糖尿病を合併する心不全患者の新規治療標的、予後規定因子の臨床研究 2 心不全患者の予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究 3 冠動脈疾患患者の予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究 4 糖尿病患者の合併症発症進展、予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究
	理学療法学第一座	1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 早産低出生体重児の精神運動発達の特徴に関する研究 3 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 4 脳卒中中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 5 ヒトの感覚運動機能に関する神経科学的研究 6 筋の高次制御に関する神経科学的研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明およびその治療法の開発 8 脳卒中後遺症者および高齢者の身体活動と転倒に関する研究 9 地域在住高齢者に対する健康増進を目的とした疫学研究 10 がんリハビリテーションの効果検証に関する研究
理学療法学	理学療法学第二座	1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 ヒト骨格形態の進化学的研究 5 人類集団の移動と環境適応についての人類学的研究 6 四肢関節・靱帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 7 医用画像による運動器障害理学療法評価に関する研究 8 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 9 身体運動時の骨格筋機能に関する研究 10 運動時の呼吸循環応答、及び内部障害に関する運動生理学的研究 11 国際競技大会におけるスポーツ医療システムに関する研究
	作業療法学第一座	1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指・上肢・体幹の動作解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法および作業科学の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 運動器疾患に対する作業療法開発のための基礎研究 7 高次脳機能障害に対する作業療法の評価および治療介入効果に関する研究 8 地域在住高齢者の計画実行型介護予防の介入研究 9 脳神経疾患の疾病教育に関する研究
作業療法学	作業療法学第二座	<小児看護学> 1 小児看護学とその教育に関する研究 2 小児を対象とした喫煙防止教育と評価に関する研究 3 先天性心疾患をもつ子どもの主体性に関する研究 4 幼児が医療の経験を通じて「がんばった」と実感できる看護ケアに関する研究 <老年看護学> 1 高齢者のせん妄の予防ケアとその教育に関する研究 2 認知症高齢者とその家族への看護に関する研究 3 軽症脳卒中患者の再発予防に関する研究 <精神看護学> 1 精神障害を抱える親と子どもへの看護に関する研究 2 保健医療福祉分野における“応援”に関する研究 3 精神障害領域のピアサポーターと精神科看護師の共同に関する研究 <内科学> 1 糖尿病を合併する心不全患者の新規治療標的、予後規定因子の臨床研究 2 心不全患者の予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究 3 冠動脈疾患患者の予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究 4 糖尿病患者の合併症発症進展、予後、QOL/ADLに看護が及ぼす影響の臨床研究

入 試 ・ 高 大 連 携 部 門		1 出願状況や入試結果等の情報から得られるデータ解析による入学者選抜方法の妥当性と改善に関する研究 2 入試広報と高大連携推進に関する研究 3 入学者の入学時成績と入学後成績およびフォローアップの必要性に関する研究
教 養 教 育 研 究 部 門	哲 学 ・ 倫 理 学	1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 西洋哲学の古典研究
	心 理 学	1 心理社会的ストレスの心理生理学および行動医学研究 2 心臓血管系血行力学及び自律神経調整機能無侵襲計測の開発と応用 3 血管健康マーカーの開発と応用 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	1 生命医学研究と法をめぐる基礎的研究 2 医療における質・安全 3 医療・医学研究における倫理審査と市民・患者参加
	英 語	1 英語教育 2 認知言語学・コーパス言語学、言語類型論からみた英語研究、応用言語学 3 日本学、日米比較文化論、ベッドサイドマナー 4 言説分析、表象文化論、医療における科学技術社会論、健康と疾病の社会学
	物 理 学	1 数理生物学 2 生体物理学 3 非線形・非定常時系列データの解析および解析方法の構築 4 北海道全市区町村における二次医療圏外受診動向の調査
	化 学	1 遺伝子モデル系による、細菌・ウイルスに対する自然免疫と生体防御の分子機構 2 宿主および環境因子の認知による細菌の毒性調節と宿主との共存機構 3 抗菌ペプチドおよび食細胞の機能制御法の開発 4 異所性に発現する肺コレクチンの機能
	生 物 学	1 ゲノム医療を目指した基礎的研究 2 種々の腫瘍におけるがん関連遺伝子の同定と機能解析 3 ライブセルイメージングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析 4 がん幹細胞の細胞生物学的特徴の研究 5 微小管アセチル化酵素の細胞生物学的研究 6 エキノコッカスの免疫ターゲットに関する研究
	数 学 ・ 情 報 科 学	1 数理モデリング 2 Mixed Reality 技術を利用した日常生活支援システムの開発 3 外科術後のQOL値を明らかにする患者からの申告記録とフィードバックシステムの構築と実装研究 4 AIを活用したシステム開発に関する研究
教 育 開 発 研 究 部 門		1 学習者評価の方法に関する研究 2 医師偏在問題を解決する地域滞在型医療実習方略の研究 3 FD (faculty development) 方法論の研究 4 地域医療人材育成に関する調査研究 5 診療参加型臨床実習の実習方略に関する研究 6 多職種連携・プロフェッショナルリズム教育のあり方に関する研究
統 合 I R 部 門		1 学修成果と教育成果の把握ならびに可視化のためのデータ収集およびデータ分析 2 上記を行うにあたり、適したデータベース構造の検討・研究 3 学長、医学部・保健医療学部執行部、教育に関する各種委員会による諮問事項に関する調査・分析 4 地域定着と医学教育の在り方に関する研究 5 学生の人間力養成に関わるメンタルヘルスケア分析研究
応 用 情 報 科 学 部 門		1 医療・保健・福祉情報、データサイエンス、人工知能に関する教育、研究 2 ICT (Information amd Communication Technology) を活用した医学・保健医療学研究 3 医療情報学を用いた医学・保健医療学研究 4 本学の教育・研究におけるデジタル化の推進

エ 寄附講座

アイン・ニトリ緩和医療学・支持療法学講座	1 緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療に関する研究 2 緩和医療に携わる医療者の人材育成に関する研究 3 がん患者・家族の全人的な苦痛・苦悩へのアプローチに関する研究 4 がん患者包括的アセスメントの必要性和コ・ワーカーとしての業務創出 5 地域への啓蒙と知識の還元（公開講座，学習会，セミナー開催）
再生治療推進講座	1 治験薬製造の効率化に係る技術開発 2 品質検査の確立 3 実用化のための製造方法検討 4 原料と製品の搬送条件検討及び搬送器具の開発 5 製品の安定性評価
北海道病院前・航空・災害医学講座	1 救命救急士教育方法の研究 2 メディカルコントロールについての研究 3 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究 4 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究 5 災害時医療チームの教育方法の研究 6 災害時医療体制の研究 7 高齢者救急の研究
運動器抗加齢医学講座	1 骨代謝疾患の診断と治療における問題点とその対策に関する研究 2 2次性骨粗鬆症性骨折の発生予防を目的とした疫学研究 3 上肢の外傷と変性疾患に対する診断と治療法に関する研究 4 小児運動器疾患の治療法に関する研究 5 骨代謝疾患にともなう疼痛発生メカニズムに関する研究 6 骨代謝疾患とサルコペニアの病態における筋・骨連関メカニズムに関する研究 7 ヒト未固定凍結標本を用いた上肢機能評価法と再建手術法の確立に関する研究 8 運動器加齢性疾患モデルマウスを用いた病態解析に関する研究
炎症性腸疾患遠隔医療講座	1 遠隔医療可能な病院との連携拡大。 2 IBD medical staffのための教育資料を作成。 3 道内医療中核病院と連携によるmedical staffに対する定期的な研修会開催。 4 地域のIBD患者の診療に携るにかかりつけ医に対して定期的な研修会開催。 5 Principal research in Hokkaido Organization Emphasizing Nutritional and therapeutic Improvement to IBD patients' expectation (Phoenix) cohortによる北海道IBD患者の診療に関するコホート研究。 6 Medical staffならびにIBD患者を対象とした様々なアンケート調査研究。

オ 特設講座

南檜山地域医療教育学講座	1 将来地域医療を担う医学生・研修医に対する医療知識・技能・態度の教授手法の研究 2 医療機関の病診連携、遠隔診断・治療方法の確立 3 離島/僻地にて医療・研究に従事する医師が継続的に存在する条件の検証
消化器先端内視鏡学講座	1 道内における消化器内視鏡医師の教育・指導の推進 2 Information and communication technology (ICT) を用いた遠隔内視鏡診療 3 低侵襲内視鏡治療の推進・開発

(9) 国際交流

本学では、次の国際交流方針に基づき、5カ国・8の大学・団体と交流協定等を結び、積極的に学生交流・研究者交流を進めている。

【札幌医科大学 国際交流方針】

- 1 人材育成
グローバルな視野と国際感覚を有し、わが国および世界の医療と医学・保健医療学の発展に寄与する人材を育成する。
- 2 研究・医療の国際化
海外の大学・研究施設との交流・連携を通して、国際的に高く評価される医学・保健医療学研究と先進的医療の推進を図る。
- 3 国際貢献
本学の高度な医療技術や知識を活用し、海外の医療機関・医学教育機関との交流を通じて、世界の医療や医学・保健医療学のレベル向上に貢献する。

ア 国際医学交流

北方圏諸国やアジア諸国の医学教育機関との研究者の相互派遣を通じて学術交流を推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的な視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学への語学研修派遣を開始し、平成21年度からは中国医科大学との臨床実習を、平成23年度からは韓国カトリック大学との臨床実習を、相互交流として実施しているほか、平成31年には韓国・高麗大学、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校との間で学生交流協定を締結した。

なお、令和4年度は代替として遠隔交流の取組を進め、アルバータ大学のオンライン語学研修に参加したほか、令和5年度はアルバータ大学の現地での語学研修に参加した。

(令和5年10月1日現在)

		フィンランド	カナダ	中 国		米 国		韓 国	
協定等締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トリルク、 オウル、東フィンランド、 タンペレ大学)	アルバータ 大学	中国医科 大学	佳木斯 大学	マサチューセツ 州立大学	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	韓国カトリック 大学	高麗大学
開始年度		1977	1983	1984	2008	1994	2019	2011	2019
現協定期間		2022. 5. 31 － 2027. 5. 30	2019. 6. 13 － 2024. 6. 12	2019. 4. 1 － 2024. 3. 31	2023. 4. 1 － 2026. 3. 31	2022. 9. 1 － 2025. 8. 31	－	2023. 5. 11 － 2024. 5. 10	2019. 3. 11 － 2024. 3. 10
研究者派遣	協定人数 (年間)	1 名 (1 ～ 2 箇月)	3 名 (6 週間)	1 名 (15日間)	1 名 (30日以内)	1 名 (2 週間)	－	－	1 名 (6～12箇月)
	派遣総数	42名	49名	46名	14名	28名	－	－	－
研究者受入	協定人数 (年間)	1 名 (1 ～ 2 箇月)	3 名 (6 週間)	1 名 (15日間)	1 名 (30日以内)	1 名 (2 週間)	－	－	1 名 (6～12箇月)
	受入総数	42名	30名	48名	10名	9 名	－	－	－
その他協定の概要		・旅費については派遣大学、滞在費については受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、 旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配)							
学生派遣 (直近 5 年)			【語学研修】 元年度 12 名 2 年度 中止 3 年度 4 名 4 年度 6 名 ※3, 4 年度は オンライン 5 年度 8 名	【臨床実習】 30 年度 2 名 元年度 2 名 2 年度 中止 3 年度 中止 4 年度 中止		【臨床実習】 2 年度 中止 3 年度 中止 ※3 年度はオンライン・ セミナーを開催 4 年度 中止	【臨床実習】 30 年度 2 名 元年度 2 名 2 年度 中止 3 年度 中止 4 年度 中止	【臨床実習】 2 年度 中止 3 年度 中止 ※3 年度はオンライン・ セミナーを開催 4 年度 中止	

イ 訪問研究員の受入

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問研究員として受け入れている(日本人、外国人の区別はない)。

この場合の費用は、本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしていることから、受入人数・期間等の制限はないが、受入講座等の事情により限度がある。

・外国からの受け入れ状況（直近5年）

平成30年度 9名 令和元年度 5名 令和2年度 0名 令和3年度 1名 令和4年度 1名

ウ 教員在外研究等

(延べ人数)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	元年度	4年度		元年度	4年度		元年度	4年度
【アジア】			【オセアニア】			【ヨーロッパ】		
アラブ首長国連邦	2	0	オーストラリア	3	2	アイルランド	1	0
インド	0	0				イギリス	6	3
インドネシア	1	1	【北米】			イタリア	5	2
韓国	9	2	アメリカ合衆国	36	9	オーストリア	2	0
カンボジア	1	1	カナダ	8	1	オランダ	1	1
シンガポール	5	1	キューバ	0	0	スイス	1	0
タイ	2	1				スペイン	9	1
台湾	3	0	【中南米】			チェコ	1	0
中国	10	1	アルゼンチン	0	0	デンマーク	0	1
バングラデシュ	1	1				ドイツ	1	2
フィリピン	0	0	【アフリカ】			フィンランド	0	1
ベトナム	2	1	南アフリカ共和国	0	0	フランス	6	2
香港	0	0	エジプト	0	0	ポルトガル	3	0
マレーシア	0	1				ベルギー	0	1
ミャンマー	1	0				ギリシア	2	0
ラオス	1	0				ノルウェー	0	0
						スウェーデン	0	1
						ラトビア	0	1
						ロシア	2	0
						合 計	125	38

注) 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣実績なし

(10) 標 本 館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年、医療教育機関が増加したのに伴い、これらの学生生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三 橋 公 平（解剖学第二講座教授）
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島 信之助（法医学講座教授）
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊 地 浩 吉（病理学第一講座教授）
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山 崎 英 雄（生物学教授）
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫（病理学第二講座教授）
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百 々 幸 雄（解剖学第二講座教授）
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高 橋 杏 三（解剖学第一講座教授）
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森 田 匡 彦（法医学講座教授）
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐 藤 昇 志（病理学第一講座教授）
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤 田 典 均（病理学第二講座教授）
平成18年4月1日－平成22年3月31日	辰 巳 治 之（解剖学第一講座教授）
平成22年4月1日－平成25年3月31日	松 本 博 志（法医学講座教授）
平成25年4月1日－平成28年3月31日	藤 宮 峯 子（解剖学第二講座教授）
平成28年4月1日－平成30年3月31日	一 宮 慎 吾（フロンティア医学研究所 免疫制御医学部門教授）
平成30年4月1日－令和4年3月31日	松 村 博 文（理学療法学科理学療法第二講座教授）
令和4年4月1日－現 在	鳥 越 俊 彦（病理学第一講座教授）

イ 概況

（令和5年10月1日現在）

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,426
模型	人体解剖模型 化石人骨模型 ムラージュ 動物模型	174
光顕用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	47,214
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー・ 検眼鏡・顕微鏡の変遷他	538
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	165
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	1,077
他の医学関係資料	パネル・写真・薬袋 大学関係資料他	730
合 計		51,324

ウ 利用状況

（令和4年度 単位：人）

利用の内訳	標本見学	視聴覚学習	自習コーナー （顕微鏡・情報機器）
学内者	291	0	72
学外者	1,945	1,502	1
計	2,236	1,502	73

（総入館者数：2,248人）

2 学 事 事 項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年 度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和35年度				995	68	14.63							
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				昭和54年度から大学入学者の選抜は、共通第1次学力試験と札幌医科大学の第2次学力試験により行われた
昭和62年度							729	105	6.94				
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	平成2年度から大学入試センター試験実施
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	
平成24年度							565	110	5.14	249	90	2.77	平成9年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会が複数化された
平成25年度							591	110	5.37	199	90	2.21	
平成26年度							565	110	5.14	181	90	2.01	
平成27年度							544	110	4.95	174	90	1.93	
平成28年度							343	110	3.12	201	90	2.23	
平成29年度							456	110	4.15	181	91	1.99	
平成30年度							458	110	4.16	167	90	1.86	
令和元年度							384	110	3.49	204	90	2.27	
令和2年度							412	110	3.75	153	90	1.70	
令和3年度							363	110	3.30	195	90	2.17	平成5年度に保健医療学部が設置された
令和4年度							372	103	3.61	206	90	2.29	
令和5年度							450	110	4.09	169	90	1.88	

※志願者数及び入学者数には私費留学生の数を含まない

イ 定員及び現員数

(令和5年10月1日現在 単位：人)

学年		入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
部		定員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員
医学部	医 学 科	110	117 (39)	110 (27)	110 (45)	109 (32)	115 (35)	114 (43)	675 (221)
保健医療学部	看 護 学 科	50	50 (48)	51 (47)	49 (47)	51 (48)			201 (190)
	編 入 学 生 数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	計		50 (48)	51 (47)	49 (47)	51 (48)			201 (190)
	理 学 療 法 学 科	20	20 (10)	20 (7)	20 (15)	22 (9)			82 (41)
	編 入 学 生 数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	計		20 (10)	20 (7)	20 (15)	22 (9)			82 (41)
	作 業 療 法 学 科	20	20 (15)	21 (16)	19 (17)	19 (16)			79 (64)
	編 入 学 生 数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	計		20 (15)	21 (16)	19 (17)	19 (16)			79 (64)
	編 入 学 生 総 計	90	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	小 計		90 (73)	92 (70)	88 (79)	92 (73)			362 (295)
学 部 合 計		200	207 (112)	202 (97)	198 (124)	201 (105)	115 (35)	114 (43)	1,037 (516)
医学研究科	博 士 課 程	50	37 (10)	39 (10)	30 (8)	77 (19)	0 0	0 0	183 (47)
	地域医療人間総合医 学	18	12 (4)	12 (3)	10 (1)	31 (7)			65 (15)
	分 子 ・ 器 官 制 御 医 学	20	15 (3)	16 (4)	14 (5)	35 (8)			80 (20)
	情 報 伝 達 制 御 医 学	12	10 (3)	11 (3)	6 (2)	11 (4)			38 (12)
	修 士 課 程	10	6 (5)	5 (4)					10 (5)
	医 科 学	10	6 (4)	4 (1)					10 (5)
	小 計	60	43 (15)	44 (14)	30 (8)	77 (14)	0 (0)	0 (0)	193 (52)
	保 健 医 療 学 科	12	2 (2)	8 (4)	()				10 (6)
保健医療学研究科	看 護 学	2	2 (2)	3 (1)	2 (2)				7 (5)
	理 学 療 法 学 ・ 作 業 療 法 学	12	12 (5)	15 (1)	()				27 (6)
	博 士 課 程 後 期	6	4 (2)	2 (0)	11 (3)				17 (5)
	小 計	32	20 (11)	28 (6)	13 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	61 (22)
大 学 院 合 計		92	63 (26)	72 (20)	43 (13)	77 (19)	0 (0)	0 (0)	254 (74)
専攻科	公衆衛生看護学専攻	15	15 (15)						15 (15)
	助 産 学 専 攻	15	15 (15)						15 (15)
専 攻 科 合 計		30	30 (30)						30 (30)
総 合 計		322	300 (168)	274 (117)	241 (137)	278 (124)	115 (35)	114 (43)	1,321 (605)

※ () 内は女子学生数 (内数)

ウ 出身地別現員数

(令和5年10月1日現在)

学年		1年			2年			3年			4年		
出身地		道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医 学 部	人	103	14	117	100	10	110	101	9	110	94	15	109
	%	12.0	88.0	100.0	90.9	9.1	100.0	91.8	8.2	100.0	86.2	13.8	100.0
保 健 医 療 学 部	人	83	7	90	92	0	92	88	0	88	86	6	92
	%	92.2	7.8	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	93.5	6.5	100.0
医 学 研 究 科	人	31	11	42	28	11	39	29	9	38	73	12	85
	%	73.8	26.2	100.0	71.8	28.2	100.0	76.3	23.7	100.0	85.9	14.1	100.0
保 健 医 療 学 科	人	21	0	21	35	1	36	12	1	13			
	%	100.0	0.0	100.0	97.2	2.8	100.0	92.3	7.7	100.0			
専 攻 科	人	24	6	30									
	%	80.0	20.0	100.0									
計	人	173	127	300	255	22	277	230	19	249	253	33	286
	%	57.7	42.3	100.0	92.1	7.9	100.0	92.4	7.6	100.0	88.5	11.5	100.0

学年		5年			6年			道内計	道外計	合計
出身地		道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医 学 部	人	100	15	115	98	16	114	507	168	675
	%	87.0	13.0	100.0	86.0	14.0	100.0	75.1	24.9	100.0
保 健 医 療 学 部	人							349	13	362
	%							96.4	3.6	100.0
医 学 研 究 科	人							161	43	204
	%							78.9	21.1	100.0
保 健 医 療 学 科	人							68	2	70
	%							97.1	2.9	100.0
専 攻 科	人							24	6	30
	%							80.0	20.0	100.0
計	人	100	15	115	98	16	114	1,109	232	1,341
	%	87.0	13.0	100.0	86.0	14.0	100.0	82.7	17.3	100.0

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

卒業年次	卒業生	出身地		卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外
昭和 29 年 (第 1 回)	36	22	14	平成 6 年 (第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年 (第 2 回)	41	35	6	平成 7 年 (第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年 (第 3 回)	47	41	6	平成 8 年 (第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年 (第 4 回)	66	58	8	平成 9 年 (第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年 (第 5 回)	69	60	9	平成 10 年 (第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年 (第 6 回)	58	49	9	平成 11 年 (第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年 (第 7 回)	67	54	13	平成 12 年 (第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年 (第 8 回)	62	54	8	平成 13 年 (第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年 (第 9 回)	59	35	24	平成 14 年 (第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年 (第 10 回)	59	32	27	平成 15 年 (第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年 (第 11 回)	63	54	9	平成 16 年 (第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年 (第 12 回)	65	58	7	平成 17 年 (第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年 (第 13 回)	66	54	12	平成 18 年 (第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年 (第 14 回)	62	58	4	平成 19 年 (第 54 回)	103	67	36
昭和 43 年 (第 15 回)	62	58	4	平成 20 年 (第 55 回)	103	73	30
昭和 44 年 (第 16 回)	80	71	9	平成 21 年 (第 56 回)	100	62	38
昭和 45 年 (第 17 回)	74	63	11	平成 22 年 (第 57 回)	97	75	22
昭和 46 年 (第 18 回)	78	63	15	平成 23 年 (第 58 回)	101	76	25
昭和 47 年 (第 19 回)	73	60	13	平成 24 年 (第 59 回)	100	75	25
昭和 48 年 (第 20 回)	69	55	14	平成 25 年 (第 60 回)	98	69	29
昭和 49 年 (第 21 回)	84	74	10	平成 26 年 (第 61 回)	103	74	29
昭和 50 年 (第 22 回)	77	57	20	平成 27 年 (第 62 回)	104	72	32
昭和 51 年 (第 23 回)	65	54	11	平成 28 年 (第 63 回)	99	63	36
昭和 52 年 (第 24 回)	80	62	18	平成 29 年 (第 64 回)	118	80	38
昭和 53 年 (第 25 回)	92	74	18	平成 30 年 (第 65 回)	109	63	46
昭和 54 年 (第 26 回)	90	81	9	令和 元 年 (第 66 回)	100	63	37
昭和 55 年 (第 27 回)	94	84	10	令和 2 年 (第 67 回)	116	83	33
昭和 56 年 (第 28 回)	95	81	14	令和 3 年 (第 68 回)	100	81	19
昭和 57 年 (第 29 回)	95	84	11	令和 4 年 (第 69 回)	111	91	20
昭和 58 年 (第 30 回)	107	96	11	令和 5 年 (第 70 回)	106	83	23
昭和 59 年 (第 31 回)	99	87	12				
昭和 60 年 (第 32 回)	94	90	4				
昭和 61 年 (第 33 回)	97	90	7				
昭和 62 年 (第 34 回)	86	75	11				
昭和 63 年 (第 35 回)	89	79	10				
平成 元 年 (第 36 回)	116	96	20				
平成 2 年 (第 37 回)	92	79	13				
平成 3 年 (第 38 回)	101	85	16				
平成 4 年 (第 39 回)	99	84	15				
平成 5 年 (第 40 回)	107	87	20				
合 計					6,177	4,770	1,407

イ 保健医療学部

(単位：人)

卒業年次	看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地 道内	道外
平成9年(第1回)	48 (3)	21 (3)	19 (3)	88 (9)	76 (8)	12 (1)
平成10年(第2回)	51 (8)	25 (1)	22 (0)	98 (9)	72 (6)	26 (3)
平成11年(第3回)	61 (5)	21 (2)	20 (4)	102 (11)	71 (11)	31 (0)
平成12年(第4回)	54 (9)	23 (2)	23 (2)	100 (13)	78 (9)	22 (4)
平成13年(第5回)	58 (8)	22 (2)	24 (2)	104 (12)	79 (8)	25 (4)
平成14年(第6回)	54 (5)	24 (3)	21 (2)	99 (10)	76 (9)	23 (1)
平成15年(第7回)	57 (5)	27 (2)	24 (0)	108 (7)	93 (7)	15 (0)
平成16年(第8回)	53 (5)	23 (2)	21 (0)	97 (7)	83 (7)	14 (0)
平成17年(第9回)	52 (4)	21 (2)	23 (1)	96 (7)	83 (5)	13 (2)
平成18年(第10回)	49 (4)	30 (1)	21 (2)	100 (7)	85 (5)	15 (2)
平成19年(第11回)	56 (1)	23 (1)	23 (0)	102 (2)	91 (2)	11 (0)
平成20年(第12回)	49 (0)	22 (0)	21 (0)	92 (0)	82 (0)	10 (0)
平成21年(第13回)	52 (0)	18 (0)	19 (0)	89 (0)	84 (0)	5 (0)
平成22年(第14回)	55 (0)	23 (0)	22 (0)	100 (0)	89 (0)	11 (0)
平成23年(第15回)	52 (0)	21 (0)	23 (0)	96 (0)	93 (0)	3 (0)
平成24年(第16回)	50 (0)	21 (0)	21 (0)	92 (0)	86 (0)	6 (0)
平成25年(第17回)	49 (0)	18 (0)	20 (0)	87 (0)	80 (0)	7 (0)
平成26年(第18回)	47 (0)	20 (0)	22 (0)	89 (0)	87 (0)	2 (0)
平成27年(第19回)	48 (0)	19 (0)	19 (0)	86 (0)	82 (0)	4 (0)
平成28年(第20回)	50 (0)	21 (0)	17 (0)	88 (0)	85 (0)	3 (0)
平成29年(第21回)	49 (0)	18 (0)	20 (0)	87 (0)	82 (0)	5 (0)
平成30年(第22回)	49 (0)	17 (0)	20 (0)	86 (0)	84 (0)	2 (0)
令和元年(第23回)	50 (0)	20 (0)	20 (0)	90 (0)	88 (0)	2 (0)
令和2年(第24回)	48 (0)	19 (0)	21 (0)	88 (0)	85 (0)	3 (0)
令和3年(第25回)	51 (0)	19 (0)	19 (0)	89 (0)	85 (0)	4 (0)
令和4年(第26回)	50 (0)	20 (0)	21 (0)	91 (0)	88 (0)	3 (0)
令和5年(第27回)	50 (0)	19 (0)	20 (0)	89 (0)	88 (0)	1 (0)
合 計	(57) 1,392	(21) 575	(16) 566	(94) 2,533	(77) 2,255	(17) 278

※1 出身地は学位記記載の本籍地による ※2 ()内は編入学生数(内数)

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98 回 (平成 16 年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成 17 年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第 100 回 (平成 18 年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第 101 回 (平成 19 年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第 102 回 (平成 20 年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第 103 回 (平成 21 年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第 104 回 (平成 22 年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第 105 回 (平成 23 年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2
第 106 回 (平成 24 年)	100	100	92	92.0	7	5	71.4	107	97	90.7
第 107 回 (平成 25 年)	98	98	92	93.9	10	8	80.0	108	100	92.6
第 108 回 (平成 26 年)	103	103	102	99.0	8	4	50.0	111	106	95.5
第 109 回 (平成 27 年)	104	104	102	98.1	4	1	25.0	108	103	95.4
第 110 回 (平成 28 年)	99	99	96	97.0	5	4	80.0	104	100	96.2
第 111 回 (平成 29 年)	118	117	107	91.5	4	4	100.0	121	111	91.7
第 112 回 (平成 30 年)	109	109	102	93.6	10	9	90.0	119	111	93.3
第 113 回 (令和 元年)	100	100	98	98.0	9	6	66.7	109	104	95.4
第 114 回 (令和 2 年)	116	116	109	94.0	5	2	40.0	121	111	91.7
第 115 回 (令和 3 年)	100	100	97	97.0	9	6	66.7	109	103	94.5
第 116 回 (令和 4 年)	110	110	99	90.0	5	2	40.0	115	101	87.8
第 117 回 (令和 5 年)	106	106	102	96.2	14	10	71.4	120	112	93.3

イ 看護師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93 回 (平成 16 年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成 17 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 95 回 (平成 18 年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第 96 回 (平成 19 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 97 回 (平成 20 年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 98 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 99 回 (平成 22 年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0
第 100 回 (平成 23 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 101 回 (平成 24 年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第 102 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 103 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 104 回 (平成 27 年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 105 回 (平成 28 年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第 106 回 (平成 29 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 107 回 (平成 30 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 108 回 (令和 元年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第 109 回 (令和 2 年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 110 回 (令和 3 年)	51	51	51	100.0	0	0	-	51	51	100.0
第 111 回 (令和 4 年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第 112 回 (令和 5 年)	50	50	49	98.0	0	0	-	50	49	98.0

ウ 保健師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90 回 (平成 16 年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成 17 年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第 92 回 (平成 18 年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成 19 年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成 20 年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第 95 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96 回 (平成 22 年)	55	55	54	98.2	0	0	-	55	54	98.2
第 97 回 (平成 23 年)	52	51	50	98.0	0	0	-	51	50	98.0
第 98 回 (平成 24 年)	50	50	49	98.0	2	1	50.0	52	50	96.2
第 99 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 100 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 101 回 (平成 27 年)	48	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 102 回 (平成 28 年)	12	12	12	100.0	0	0	-	12	12	100.0
第 103 回 (平成 29 年)	9	9	9	100.0	0	0	-	9	9	100.0
第 104 回 (平成 30 年)	11	11	10	90.9	0	0	-	11	10	90.9
第 105 回 (令和 元年)	10	10	10	100.0	0	0	-	10	10	100.0
第 106 回 (令和 2 年)	10	10	10	100.0	0	0	-	10	10	100.0
第 107 回 (令和 3 年)	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第 108 回 (令和 4 年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第 109 回 (令和 5 年)	14	14	14	100.0	0	0	-	14	14	100.0

工 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第41回（平成18年）	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第42回（平成19年）	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第43回（平成20年）	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第44回（平成21年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第45回（平成22年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第46回（平成23年）	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第49回（平成26年）	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0
第50回（平成27年）	19	19	19	100.0	1	0	0.0	20	19	95.0
第51回（平成28年）	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第52回（平成29年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第53回（平成30年）	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0
第54回（令和元年）	20	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第55回（令和2年）	19	19	19	100.0	1	1	100.0	20	20	100.0
第56回（令和3年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第57回（令和4年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第58回（令和5年）	19	19	18	94.7	0	0	-	19	18	94.7

才 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第41回（平成18年）	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第42回（平成19年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第43回（平成20年）	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第44回（平成21年）	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第45回（平成22年）	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第46回（平成23年）	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第49回（平成26年）	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第50回（平成27年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第51回（平成28年）	17	17	16	94.1	0	0	-	17	16	94.1
第52回（平成29年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第53回（平成30年）	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0
第54回（令和元年）	20	20	20	100.0	1	1	-	21	21	100.0
第55回（令和2年）	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第56回（令和3年）	19	19	19	100.0	2	0	0.0	21	19	90.5
第57回（令和4年）	21	21	20	95.2	1	1	100.0	22	21	95.5
第58回（令和5年）	20	20	19	95.0	1	0	0.0	21	19	90.5

力 助産師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第96回（平成25年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第97回（平成26年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第98回（平成27年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第99回（平成28年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第100回（平成29年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第101回（平成30年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第102回（令和元年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第103回（令和2年）	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0
第104回（令和3年）	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0
第105回（令和4年）	15	15	15	100.0	0	0	-	15	15	100.0
第106回（令和5年）	13	13	13	100.0	0	0	-	13	13	100.0

(4) 研究生数

(令和5年10月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学部門	解剖学第一			医学部臨床部	消化器内科学	5	3
	解剖学第二				循環器・腎臓・代謝内分泌内科学	23	15
	細胞生理学				呼吸器・アレルギー内科学	9	4
	神経科学				腫瘍内科学		
	化学				神経内科学	7	5
	分子生物学				消化器・総合・乳腺・内分泌外科学		
	病理学第一	2			心臓血管外科学		
	病理学第二	1			整形外科学		
	微生物学				脳神経外科学		
	薬理学				産婦人科学	1	1
	衛生学				小児科学	14	7
	公衆衛生学	3			眼科学		
	法医学				皮膚科学		
医学部附属フロンティア医学研究所	医学部基礎医学部門計	6		医学部臨床部	泌尿器科学		
	細胞科学部門	1			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2	
	ゲノム医科学部門				神経精神医学		
	組織再生学部門				放射線医学		
	分子医学部門				麻酔科学		
	病態情報学部門				地域医療総合医学		
	神経再生医療学部門				総合診療医学	1	1
	免疫制御医学部門				感染制御・臨床検査医学		
	医学部附属フロンティア医学研究所計	1	0		救急医学	2	2
	医学部教育研究機器センター計	0	0		口腔外科学	2	2
	医学部動物実験施設部計	0	0		リハビリテーション医学		
	先端医療知財学				形成外科学		
	遺伝医学	0			医学部臨床医学部門計	66	40
医学部臨床部	医学部学科目(基礎医学部門)計	0	0	保健医療学部	医学部計	73	40
	産科周産期科学				看護学	1	
	医療薬学				理学療法学		
	病理診断学				作業療法学		
	放射線診断学				保健医療学部計	1	0
	病院管理学				医療人育成センター計	1	0
	集中治療医学				附属総合情報センター計	0	0
	呼吸器外科学				合計	75	40
	血液内科学						
	免疫・リウマチ内科学						
	医学部学科目(臨床医学部門)計	0	0				

(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数

年度	区分 専攻 学	修士課程 本学大学院修了者（博士課程）										一般論文提出者	合計
		医	生	病	社	内	外	合	地	医	分	制	
		科	理	理	会	科	科	域	域	子	子	情	
		学	系	系	系	系	系	医	医	器	官	御	計
		学	系	系	系	系	系	学	学	学	学	学	計
昭和34年度～平成12年度			49	81	16	228	297						671
平成13年度			1			11	16						28
平成14年度			3	2		11	16						32
平成15年度				3		11	18						32
平成16年度						1	2	14	26	4			47
平成17年度								17	33	2			52
平成18年度						1		13	19	17			50
平成19年度								4	11	5			20
平成20年度								10	16	5			31
平成21年度	7							10	11	7			28
平成22年度	8							11	12	7			30
平成23年度	9							8	22	6			36
平成24年度	8							8	29	8			45
平成25年度	5							13	15	12			40
平成26年度	1							15	19	6			40
平成27年度	5							17	22	8			47
平成28年度	8							18	26	8			52
平成29年度	3							17	26	9			52
平成30年度	7							7	9	7			23
令和元年度	8							7	6	8			21
令和2年度	4							12	15	5			32
令和3年度	3							7	14	8			29
令和4年度	7							17	10	11			38
計		83	53	86	16	263	349	225	341	143		1,476	3,274

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数

年度	区 分	本 学 大 学 院 修 了 者						提 一 般 出 論 者 文	合 計
		修 士 課 程			博 士 課 程				
	看 護 学	理学療法 学・作業療法 学	看 護 学	理学療法 学・作業療法 学	看 護 学	理学療法 学・作業療法 学			
	看 護 学	理学療法 学・作業療法 学	看 護 学	理学療法 学・作業療法 学					
平 成 11 年 度		9	6	3				0	18
平 成 12 年 度		6	4	3				0	13
平 成 13 年 度		4	5	5				0	14
平 成 14 年 度		8	8	3		1	3	0	23
平 成 15 年 度		6	2	3		2	1	0	14
平 成 16 年 度		6	6	7		1	1	0	21
平 成 17 年 度		7	7	4		4	1	0	23
平 成 18 年 度		5	7	3		2	4	0	21
平 成 19 年 度		7	9	3		3	2	0	24
平 成 20 年 度		8	3	7	2		1	0	21
平 成 21 年 度		4	7	3	0	1	3	0	18
平 成 22 年 度		3	8	6	1	3	3	0	24
平 成 23 年 度		4	8	3	1	2	1	1	20
平 成 24 年 度		5	8	3		3			19
平 成 25 年 度		3	8	3	1	4	3	0	22
平 成 26 年 度		9	7	1		2	1	1	21
平 成 27 年 度		6	11	0	1	1	3	0	22
平 成 28 年 度		2	5	3	0	3	1	0	14
平 成 29 年 度		6	8	3	1	0	0	1	19
平 成 30 年 度		6	6	7	2	6	2	0	29
令 和 元 年 度		5	4	2	2	2	2	0	17
令 和 2 年 度		5	6	1	0	1	0	0	13
令 和 3 年 度		11	7	1	1	3	1	2	26
令 和 4 年 度		7	5	7	0	2	1	1	23
計		142	155	84	12	46	34	6	479

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）竣工
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事竣工
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事竣工
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事竣工
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事竣工
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事竣工
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事竣工
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事竣工
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事竣工
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事竣工
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事竣工
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）竣工
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）竣工
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成10年4月1日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センターを設置
平成14年10月1日	高度救命救急センターを設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	NICUを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行
平成21年4月1日	がん診療連携拠点病院指定
平成21年8月24日	肝疾患診療連携拠点病院指定
平成21年9月27日	「病院機能評価」認定
平成23年3月30日	地域周産期母子医療センター認定
平成23年4月1日	神経再生医療科を新設し、放射線科を放射線治療科及び放射線診断科に改正
平成24年9月1日	第二外科を心臓血管外科及び呼吸器外科に改正
平成25年4月1日	医療連携・総合相談センターを設置
平成25年11月1日	臨床遺伝外来を設置

平成26年4月1日	看護キャリア支援センターを設置
平成26年9月27日	「病院機能評価」認定
平成27年4月1日	医療連携・総合相談センター及び医事センターを再編し、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置
	第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科に、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科に、第三内科を呼吸器・アレルギー内科に、第四内科を腫瘍・血液内科に、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更
平成29年3月30日	原子力災害拠点病院指定
平成29年4月1日	医事相談センターと医療連携センターを再編し、医療連携福祉センターを設置
平成30年3月23日	附属病院増築棟（西病棟）竣工
平成30年4月1日	医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年7月23日	附属病院増築棟（西病棟）運用開始
平成30年8月1日	神経内科を脳神経内科に名称変更、遺伝子診療科を設置
令和元年9月27日	「病院機能評価」認定（条件付き認定）
令和2年3月25日	附属病院既存棟改修第1期工事竣工
令和3年4月1日	治験センターを設置
令和3年9月3日	「病院機能評価」認定（本認定）
令和4年7月1日	感染症内科設置

（２） 歴代病院長

昭和25年4月1日	—	昭和35年3月31日	瀧 本 庄 蔵
昭和35年4月1日	—	昭和39年3月31日	南 浦 邦 夫
昭和39年4月1日	—	昭和41年3月31日	高 山 坦 三
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	末 吉 利 三
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	浜 谷 松 夫
昭和49年4月1日	—	昭和51年3月31日	立 野 誠 吾
昭和51年4月1日	—	昭和53年3月31日	橋 場 輝 芳
昭和53年4月1日	—	昭和55年2月8日	河 邨 文一郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年2月29日	神 村 瑞 夫
昭和55年3月1日	—	昭和57年3月31日	神 村 瑞 夫
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	漆 崎 一 朗
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日	熊 本 悦 明
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	小 松 作 蔵
平成2年3月1日	—	平成4年2月8日	谷 内 昭
平成4年2月9日	—	平成4年2月29日	谷 内 昭
平成4年3月1日	—	平成8年2月29日	飯 村 攻
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	形 浦 昭 克
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	千 葉 峻 三
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	工 藤 隆 一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	並 木 昭 義
平成16年3月1日	—	平成20年3月31日	島 本 和 明
平成20年4月1日	—	平成24年3月31日	塚 本 泰 司
平成24年4月1日	—	平成26年3月31日	平 田 公 一
平成26年4月1日	—	平成30年3月31日	山 下 敏 彦
平成30年4月1日	—	現 在	土 橋 和 文

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消化器内科		19,470	21,625	23,487	14,278	12,676	13,638
免疫・リウマチ内科		11,028	11,704	12,352	1,667	1,681	2,082
循環器・腎臓・代謝内分泌内科		31,267	31,742	32,523	12,640	13,086	12,458
呼吸器・アレルギー内科		14,448	15,061	15,563	14,575	14,103	13,243
腫瘍内科※1		22,001	14,245	14,184	22,998	13,859	13,537
血液内科※1		—	7,983	7,951	—	4,849	4,000
脳神経内科		8,731	9,436	9,947	8,196	7,163	7,200
消化器・総合・乳腺・内分泌外科		19,232	19,966	20,910	17,513	16,173	16,564
心臓血管外科		3,710	3,224	3,188	5,390	5,456	5,778
呼吸器外科		2,175	2,232	2,294	3,375	2,756	2,788
整形外科		26,973	26,867	27,439	15,700	14,467	14,699
脳神経外科		7,027	6,777	6,705	8,856	7,547	9,651
婦人科		18,473	19,329	19,879	13,333	12,342	12,727
産科周産期科		5,294	4,954	4,982	11,611	11,017	10,186
小児科		13,595	15,315	15,596	7,504	9,132	8,235
眼科		19,895	20,399	20,366	7,513	6,688	6,881
皮膚科		21,508	22,680	23,970	6,401	5,498	5,054
形成外科		7,915	8,864	9,300	5,881	6,450	6,592
泌尿器科		18,892	19,881	20,655	8,977	8,625	8,781
耳鼻咽喉科		17,881	18,868	20,142	8,464	7,053	7,211
神経精神科		12,745	12,308	11,953	4,732	5,150	7,158
放射線治療科		19,015	19,115	17,694	6,708	4,701	4,264
放射線診断科		3,124	2,810	3,266	0	0	0
麻酔科		3,408	3,473	3,710	65	43	21
総合診療科		1,498	1,605	1,238	0	0	0
歯科口腔外科		17,544	19,731	20,908	6,759	5,302	4,961
リハビリテーション科		28,296	27,100	30,224	0	0	0
神経再生医療科		129	97	133	233	206	204
遺伝子診療科		464	640	725	—	—	—
高度救命救急センター		1,645	1,662	1,614	4,117	4,339	4,811
集中治療部(再掲)※2		0	0	0	1,536	1,546	1,523
計		356,845	370,020	382,824	217,486	200,362	202,724

※1 血液内科の令和2年度の実績は、腫瘍内科に含める。

※2 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消化器内科		80.1	89.4	96.7	39.1	34.7	37.4
免疫・リウマチ内科		45.4	48.4	50.8	4.6	4.6	5.7
循環器・腎臓・代謝内分泌内科		128.7	131.2	133.8	34.6	35.9	34.1
呼吸器・アレルギー内科		59.5	62.2	64.0	39.9	38.6	36.3
腫瘍内科※1		90.5	58.9	58.4	63.0	38.0	37.1
血液内科※1		—	33	32.7	—	13	11.0
脳神経内科		35.9	39.0	40.9	22.5	19.6	19.7
消化器・総合・乳腺・内分泌外科		79.1	82.5	86.0	48.0	44.3	45.4
心臓血管外科		15.3	13.3	13.1	14.8	14.9	15.8
呼吸器外科		9.0	9.2	9.4	9.2	7.6	7.6
整形外科		111.0	111.0	112.9	43.0	39.6	40.3
脳神経外科		28.9	28.0	27.6	24.3	20.7	26.4
婦人科		76.0	79.9	81.8	36.5	33.8	34.9
産科周産期科		21.8	20.5	20.5	31.8	30.2	27.9
小児科		55.9	63.3	64.2	20.6	25.0	22.6
眼科		81.9	84.3	83.8	20.6	18.3	18.9
皮膚科		88.5	93.7	98.6	17.5	15.1	13.8
形成外科		32.6	36.6	38.3	16.1	17.7	18.1
泌尿器科		77.7	82.2	85.0	24.6	23.6	24.1
耳鼻咽喉科		73.6	78.0	82.9	23.2	19.3	19.8
神経精神科		52.4	50.9	49.2	13.0	14.1	19.6
放射線治療科		78.3	79.0	72.8	18.4	12.9	11.7
放射線診断科		12.9	11.6	13.4	0.0	0.0	0.0
麻酔科		14.0	14.4	15.3	0.2	0.1	0.1
総合診療科		6.2	6.6	5.1	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科		72.2	81.5	86.0	18.5	14.5	13.6
リハビリテーション科		116.4	112.0	124.4	0.0	0.0	0.0
神経再生医療科		0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6
遺伝子診療科		1.9	2.6	3.0	—	—	—
高度救命救急センター		6.8	6.9	6.6	11.3	11.9	13.2
集中治療部(再掲)※2		0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2
計		1,468.5	1,529.0	1,575.4	595.9	548.9	555.4

※1 血液内科の令和2年度の実績は、腫瘍内科に含める。

※2 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区分		年度	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
			入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影		40,959	45,094	86,053	39,676	47,243	86,919	39,165	47,703	86,868
	断層撮影										
	造影検査		2,932	572	3,504	2,942	614	3,556	3,088	613	3,701
	血管造影		2,089	135	2,224	2,023	61	2,084	2,116	72	2,188
	乳腺撮影		114	2,661	2,775	95	2,533	2,628	81	2,606	2,687
	骨塩検査		481	1,500	1,981	529	1,486	2,015	567	1,618	2,185
	C T 検査		10,618	16,233	26,851	9,259	16,432	25,691	9,514	17,102	26,616
	M R 検査		4,308	8,870	13,178	3,934	9,252	13,186	4,547	9,645	14,192
	R I 検査		1,261	962	2,223	780	792	1,572	857	808	1,665
	P E T / C T		217	1,356	1,573	173	1,289	1,462	173	1,439	1,612
	画像出力		2,532	3,057	5,589	2,371	3,614	5,985	2,603	3,915	6,518
	放射線治療		9,728	7,311	17,039	8,297	8,282	16,579	7,872	6,659	14,531
	合計		75,239	87,751	162,990	70,079	91,598	161,677	70,583	92,180	162,763
画像出力枚数	半切		3	3	6						
	B		4								
	乳腺用										
	C D / D V D		2,529	3,054	5,583	2,371	3,614	5,985	2,603	3,915	6,518
	合計		2,532	3,057	5,589	2,371	3,614	5,985	2,603	3,915	6,518

※ 平成17年5月から、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなった。
画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っている。

イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数

区分		年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			件数	点数	件数	点数	件数	点数
	血液検査		511,548	18,106,830	527,001	18,918,589	525,571	18,504,192
	緊急検査							
	尿検査		110,600	3,160,822	115,382	3,272,057	116,875	3,353,464
	輸血検査		62,092	3,984,073	63,641	4,024,723	62,356	4,126,198
	細菌検査		68,161	8,953,954	70,095	9,205,497	65,619	9,234,185
	生化学検査		3,138,947	66,521,842	3,260,363	71,462,941	3,373,743	73,651,830
	血清検査		112,960	1,712,203	126,462	24,643,373	144,453	28,177,856
	遺伝子検査		2,382	3,732,319	1,175	2,109,780	1,227	1,821,898
	血液ガス分析		21,166		22,936		19,370	
	生理機能検査		47,637	13,382,403	50,626	14,255,317	53,533	14,728,215
	検体検査管理加算料		460,320	63,721,487	266,314	33,689,373	468,873	57,515,126
	迅速検査管理加算料		287,496	2,874,960	308,699	3,086,990	332,395	3,323,950
	新型コロナウイルス検査受託件数		12,469	10,708,995	11,448	8,089,640	2,337	1,317,540
	健診協力		7,873		7,839		7,643	
	感染対策および研究協力等		1,247		1,354		2,692	
	検査部合計		4,844,898	196,859,888	4,833,335	192,758,280	4,651,116	197,250,262
	病理検査		22,450	15,338,650	24,258	16,165,320	24,049	15,976,000
	病理診断料		9,943	6,137,290	11,177	6,941,170	11,339	4,856,920
	病理部合計		32,393	21,475,940	35,435	23,106,490	35,388	20,832,920
	内視鏡検査		6,906	17,685,000	7,501	21,601,600	8,398	22,699,500
総合計			4,884,197	236,020,828	4,876,271	237,466,370	4,694,902	240,782,682

※ 令和元年度から血液検査、尿検査、生化学検査の緊急検査件数は、各検査に移動
新型コロナウイルス検査件数は、血清検査に抗原定量検査、遺伝子検査にPCR検査を含む

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数（入院）

科別	年度	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科		—	—	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科		10,129	21,415	150,127	9,332	19,649	130,327	9,439	19,085	132,080
免疫・リウマチ内科		1,464	3,461	23,343	1,617	3,169	23,800	2,186	4,865	36,691
循環器・腎臓・代謝内分泌内科		11,949	35,271	290,156	13,244	37,660	282,316	12,687	35,855	273,798
呼吸器・アレルギー内科		11,182	20,956	154,008	11,239	20,770	149,129	10,827	20,835	154,444
腫瘍・血液内科		8,531	17,194	117,088	—	—	—	—	—	—
腫瘍内科		8,790	17,557	129,841	12,255	25,584	182,430	11,660	24,086	166,482
血液内科		3,857	7,653	48,254	6,343	11,751	73,502	5,625	10,712	67,924
脳神経内科		5,092	11,391	86,355	5,350	12,030	96,921	5,065	11,169	84,474
消化器・総合、乳腺・内分泌外科		13,948	25,892	177,918	12,452	22,725	149,811	12,335	23,650	165,142
心臓血管外科		4,085	10,153	67,575	5,571	11,821	67,448	5,336	11,743	65,975
呼吸器外科		3,256	6,257	50,768	2,469	4,858	46,813	2,228	4,486	36,291
整形外科		10,588	20,741	126,312	10,730	20,156	114,242	10,988	21,282	129,432
脳神経外科		5,548	11,383	90,496	4,917	9,633	66,808	6,878	13,675	97,552
婦人科		10,459	16,620	127,531	10,695	17,094	143,296	11,283	17,801	140,458
産科周産期科		5,410	7,620	44,442	4,795	6,620	38,309	4,685	6,389	36,319
小児科		4,394	7,055	46,802	5,720	8,423	46,282	5,066	7,074	40,060
眼科		5,856	11,187	28,783	5,385	11,383	26,043	5,576	11,985	27,247
皮膚科		7,489	13,459	75,537	6,409	10,607	58,549	6,893	11,844	66,937
形成外科		2,407	4,177	15,193	2,803	4,808	17,648	2,893	5,403	20,956
泌尿器科		8,525	14,162	65,074	8,930	14,988	76,432	9,393	16,166	80,842
耳鼻咽喉科		6,972	13,477	82,864	6,261	11,756	65,846	6,760	12,200	69,608
神経精神科		5,509	12,624	89,531	6,365	15,821	103,576	8,248	19,183	122,175
麻酔科		155	242	3,324	265	356	2,805	137	153	360
総合診療科		2	2	14	29	39	206	15	31	191
神経再生医療科		118	306	1,697	76	91	427	139	412	2,346
放射線治療科		4,459	7,462	46,120	3,537	6,021	34,910	3,267	5,553	29,353
放射線診断科		4	6	20	6	6	16	1	1	1
歯科口腔外科		6,670	10,602	56,337	5,451	8,243	41,974	5,153	7,546	38,287
リハビリテーション科		3	7	37						
集中治療部		2,337	3,830	15,621	2,541	4,265	16,218	2,474	4,083	15,395
高度救命救急センター		4,078	6,029	24,229	4,134	6,396	24,865	4,677	7,029	27,456
感染制御部		2	2	4	2	2	4			
計		173,268	338,193	2,235,401	168,923	326,725	2,080,953	171,914	334,296	2,128,276

(イ) 年間調剤延数（外来）

科別	年度	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科		—	—	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科		448	1,977	60,200	514	2,129	66,151	530	1,996	65,680
免疫・リウマチ内科		330	2,443	105,768	299	2,271	95,472	300	2,109	88,848
循環器・腎臓・代謝内分泌内科		1,215	7,296	284,698	1,324	7,723	282,175	1,340	7,712	283,082
呼吸器・アレルギー内科		397	2,011	53,819	447	2,000	53,630	524	2,284	61,971
腫瘍・血液内科		713	4,014	117,851	—	—	—	—	—	—
腫瘍内科		438	1,641	45,118	934	3,396	84,552	977	3,481	97,090
血液内科		616	4,247	125,728	893	6,670	190,711	944	6,725	192,356
脳神経内科		204	453	17,672	231	551	22,605	229	624	23,668
消化器・総合、乳腺・内分泌外科		579	1,918	50,548	598	2,254	56,946	657	2,040	61,253
心臓血管外科		48	116	4,123	15	35	2,233	34	51	1,475
呼吸器外科		12	49	810	10	13	157	2	3	61
整形外科		1,388	4,004	121,994	1,342	3,900	116,769	1,249	3,480	111,241
脳神経外科		235	770	36,622	182	606	31,923	192	644	34,603
婦人科		303	493	6,991	410	947	14,113	291	749	13,960
産科周産期科		348	502	2,692	313	498	2,524	294	436	2,359
小児科		84	247	5,316	74	164	3,405	69	166	3,927
眼科		533	1,452	8,288	490	1,217	6,187	471	1,029	5,178
皮膚科		1,278	3,183	38,521	1,214	2,954	36,389	1,226	2,863	31,210
形成外科		233	383	5,499	222	395	3,740	323	608	8,661
泌尿器科		901	3,131	59,736	925	3,113	58,683	942	2,925	59,247
耳鼻咽喉科		312	882	22,393	272	731	20,611	296	787	20,329
神経精神科		667	2,548	75,225	572	2,018	60,569	517	1,907	50,953
麻酔科		292	1,725	52,781	244	1,417	43,575	232	1,183	34,426
総合診療科		2	2	180	10	22	443	2	4	34
神経再生医療科		11	12	832	8	12	521	7	11	429
放射線治療科		33	57	292	34	47	269	40	88	1,830
放射線診断科										
歯科口腔外科		331	598	6,287	362	647	6,434	333	573	5,311
リハビリテーション科		626	2,837	85,479	549	2,535	75,956	552	2,326	74,200
臨床遺伝外来										
集中治療部										
高度救命救急センター		15	28	651	9	13	127	13	24	133
計		12,592	49,019	1,396,114	12,497	48,278	1,336,870	12,586	46,828	1,333,515

(ウ) 年間入院注射処方せん延数

年度 科別	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科	—	—	—						
消化器内科	13,526	39,996	69,273	11,932	33,103	59,380	12,301	34,290	57,303
免疫・リウマチ内科	855	2,376	3,629	918	2,475	4,435	1,163	2,614	4,962
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	13,345	38,471	76,361	14,150	41,946	80,320	13,028	37,122	71,849
呼吸器・アレルギー内科	7,911	31,826	48,955	8,681	28,274	48,641	8,701	28,820	50,075
腫瘍・血液内科	11,379	32,126	78,027						
腫瘍内科	10,927	29,887	68,792	15,789	38,309	101,977	14,934	34,426	75,748
血液内科	4,540	11,851	29,641	7,000	17,915	41,713	4,676	10,738	26,232
脳神経内科	2,952	6,300	16,078	2,919	7,853	18,086	2,880	5,858	12,175
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	16,480	38,778	98,465	14,106	33,679	66,322	14,567	35,923	72,893
心臓血管外科	3,547	9,050	16,048	5,262	13,009	26,975	4,933	13,096	25,050
呼吸器外科	1,838	5,391	8,410	1,574	4,325	5,582	1,486	4,111	5,589
整形外科	8,614	22,315	35,568	8,083	22,697	36,778	7,683	21,276	34,858
脳神経外科	5,153	13,425	25,780	4,335	11,628	21,987	6,862	17,786	34,042
婦人科	6,763	22,751	41,284	7,098	23,831	42,469	8,341	28,387	51,486
産科周産期科	4,193	8,382	16,958	3,742	7,202	13,587	3,450	6,389	11,701
小児科	8,370	37,488	59,819	12,338	56,375	90,031	11,483	60,688	105,062
眼科	1,814	3,189	3,780	1,847	2,924	3,488	2,139	3,475	4,007
皮膚科	3,466	7,612	18,166	3,265	6,755	12,800	2,938	6,399	13,014
形成外科	1,155	2,645	3,283	1,193	2,600	3,326	1,446	3,465	4,976
泌尿器科	5,930	16,466	47,173	5,446	15,800	55,568	5,853	17,210	57,332
耳鼻咽喉科	3,875	8,518	16,448	3,349	7,303	12,888	3,363	7,578	13,893
神経精神科	628	1,411	2,051	930	2,310	3,665	729	1,663	2,861
麻酔科	35	56	88	66	87	147	39	63	77
総合診療科				30	109	181	20	33	57
神経再生医療科	60	135	181	17	34	37	69	125	152
放射線治療科	2,121	4,924	7,738	1,698	4,224	6,318	1,505	3,609	6,109
放射線診断科	2	2	2						
歯科口腔外科	3,816	10,094	16,045	2,828	7,312	12,278	2,472	7,071	11,947
リハビリテーション科	1	1	4	2	2	4	165	476	830
集中治療部									
高度救命救急センター									
計	143,296	405,466	808,047	138,598	392,081	768,983	137,226	392,691	754,280

(エ) 年間院外処方延数

年度 科別	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科	9,960	40,081	1,436,378	10,720	43,570	1,515,702	11,084	46,480	1,601,734
免疫・リウマチ内科	8,679	57,819	2,620,962	8,925	56,869	2,548,456	9,375	58,887	2,629,533
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	21,999	128,971	5,762,352	21,828	129,729	5,640,681	22,071	131,508	5,792,745
呼吸器・アレルギー内科	8,051	33,309	1,000,137	8,451	34,506	1,049,205	8,580	34,385	1,063,408
腫瘍・血液内科	4,982	20,453	750,793	—	—	—	—	—	—
腫瘍内科	4,971	19,652	732,038	8,404	33,954	1,223,702	8,154	33,226	1,185,441
血液内科	1,934	9,081	370,340	3,497	16,612	651,027	3,438	16,740	654,653
脳神経内科	6,506	29,158	1,246,858	6,909	31,446	1,277,447	7,133	32,327	1,317,462
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	9,387	25,645	1,038,210	9,857	27,572	1,103,663	10,302	27,966	1,135,922
心臓血管外科	1,591	6,858	370,789	1,208	5,311	289,600	1,172	5,340	272,487
呼吸器外科	407	993	36,204	299	669	27,519	360	818	29,188
整形外科	12,400	30,657	1,146,899	12,204	30,085	1,108,178	12,798	32,304	1,195,839
脳神経外科	3,339	9,155	562,350	3,206	8,777	530,207	3,145	8,473	520,432
婦人科	6,399	12,414	399,843	6,936	13,507	433,786	7,173	14,612	469,107
産科周産期科	897	1,269	24,179	767	1,104	21,993	849	1,200	22,812
小児科	6,598	19,167	560,945	7,515	22,051	622,138	7,538	21,914	648,233
眼科	10,659	25,435	144,091	10,487	25,001	145,628	10,498	24,021	134,609
皮膚科	12,902	37,150	667,079	13,273	38,304	678,450	13,937	39,729	696,390
形成外科	1,442	2,358	28,342	1,787	2,908	35,552	1,796	2,955	31,281
泌尿器科	6,937	16,231	712,801	7,195	17,552	729,517	7,553	19,002	754,244
耳鼻咽喉科	7,480	19,527	739,611	7,742	20,414	789,780	8,192	21,934	802,647
神経精神科	10,974	40,884	1,143,398	10,094	38,355	1,065,724	8,318	30,439	841,918
麻酔科	2,116	9,959	330,005	2,063	9,467	309,125	2,227	9,717	310,268
総合診療科	1,239	5,550	178,018	1,073	4,599	143,115	933	4,200	133,989
神経再生医療科	61	226	15,888	63	228	15,417	62	207	14,747
放射線治療科	1,189	2,151	70,509	1,113	2,158	65,405	959	1,867	44,177
放射線診断科	9	18	540	7	14	299	5	13	476
歯科口腔外科	4,399	7,401	72,752	3,989	6,717	65,543	4,479	7,544	74,299
リハビリテーション科	2,270	10,296	282,248	2,147	9,481	275,948	2,173	9,223	264,529
臨床遺伝外来	5	13	371	6	17	1,111	11	25	2,236
集中治療部									
高度救命救急センター	77	187	3,179	68	201	3,600	66	184	3,786
計	169,859	622,068	22,448,109	171,833	631,178	22,367,518	174,381	637,240	22,648,592

エ 手術部手術件数

(単位：件)

年 度 科 別	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度
消 化 器 内 科	0	2	0
免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科	0	1	0
循 環 器 ・ 腎 臓 ・ 代 謝 内 分 泌 内 科	2	3	71
呼 吸 器 ・ ア レ ル ギ ー 内 科	0	2	0
腫 瘍 内 科 ※ 1	1	1	3
血 液 内 科 ※ 1	－	3	3
脳 神 経 内 科	0	0	1
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	773	799	828
心 臓 血 管 外 科	251	275	224
呼 吸 器 外 科	264	274	267
整 形 外 科	947	955	899
脳 神 経 外 科	178	175	252
婦 人 科 ・ 産 科 周 産 期 科	851	883	884
小 児 科	2	2	2
眼 科	867	899	956
皮 膚 科	255	298	303
形 成 外 科	727	826	842
泌 尿 器 科	447	485	444
耳 鼻 咽 喉 科	515	607	590
神 経 精 神 科	18	99	76
放 射 線 治 療 科	0	1	0
放 射 線 診 断 科	0	0	0
麻 酔 科	0	1	3
総 合 診 療 科	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	439	466	404
リ ハ ビ ・ リ テ ー シ ョ ン 科	0	0	0
神 経 再 生 医 療 科	0	0	0
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	33	31	20
集 中 治 療 部	0	0	0
合 計	6,570	7,088	7,072

※1 血液内科の令和2年度の実績は、腫瘍内科に含める。

(5) 分娩件数

区 分	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度
件 数	322	324	290

(6) 病床数 (令和5年10月1日現在)

① 病棟別病床数

病 棟 名	室 数	床 数	特等		一等(A)		一等(B)		一等(C)		準一等		一般		1 床 部 屋	2 床 部 屋	3 床 部 屋	4 床 部 屋	5 床 部 屋	6 床 部 屋	8 床 部 屋	1 2 床 部 屋
			室 数	床 数	室 数	床 数	室 数	床 数	室 数	床 数	室 数	床 数	室 数	床 数								
11階北病棟 (循環器内科、免疫・リウマチ内科、共用)	12	50							2	2	1	4	9	44	2	2		2		6		
11階南病棟 (呼吸器・アレルギー内科)	14	34					1	1			3	12	10	21	6	2		6				
10階北病棟 (腫瘍内科、血液内科、共用)	15	52	1	1									14	51	6	2				7		
10階南病棟 (脳神経外科・共用)	14	34											14	34	6	2		6				
9階北病棟 (皮膚科、形成外科、整形外科、共用)	15	50							1	1			14	49	4	5				6		
9階南病棟 (消化器・総合、乳腺・内分泌外科)	16	41					1	1			3	12	12	28	3	7		6				
9階西病棟 (消化器内科)	12	30			3	3					3	12	6	15	6			6				
8階北病棟 (婦人科、消化器・総合、乳腺・内分泌外科)	14	43							1	1			13	42	3	4	1	1	5			
8階西病棟 (泌尿器科、共用)	12	30			3	3					3	12	6	15	6			6				
7階北病棟 (耳鼻咽喉科、消化器内科、整形外科、共用)	17	37					2	2			2	8	13	27	5	8		4				
7階西病棟 (眼科、腫瘍内科、共用)	12	30			6	6					3	12	3	12	6			6				
6階北病棟 (産科周産期、生殖内分泌科、腫瘍内科、消化器外科、共用)	13	34			2	2	2	2			1	4	8	26	6			7				
6階西病棟 (産科周産期・生殖内分泌科)	2	24											2	24								2
5階北病棟 (心臓外、呼吸外、呼吸内、歯科外、共用)	14	35	1	1			1	1					12	33	4	4	1	5				
5階西病棟 (小児科)	12	30											12	30	6			6				
4階北病棟 (脳神経内科、整形外科)	9	30											9	30		3		6				
4階南病棟 (神経精神科)	22	32					10	10					12	22	16	4		2				
4階西病棟 (整形外科、共用)	12	30			3	3							9	27	6			6				
2階南病棟 (歯科口腔外科・放射線治療科・共用)	17	41					3	3			3	12	11	26	5	6		6				
1階南病棟 (放射線治療科、共用)	10	16											10	16	6	3		1				
高度救命救急センター	4	20											4	20				1	2	1		
集中治療部	1	8											1	8							1	
合 計	269	731	2	2	17	17	20	20	4	4	22	88	204	600	102	52	2	83	7	20	1	2

※ 集中治療部門には人工透析室(6床)を設置している。
※ 191床休床
※ 等級別室料差額料金 特等:11,000円、一等(A):8,800円、一等(B):6,930円、一等(C):5,500円、準一等:2,200円

② 診療科等別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
消化器内科	38	呼吸器外科	12	形成外科	20	集中治療部	8
免疫・リウマチ内科	5	整形外科	42	泌尿器科	30	高度救命救急センター	20
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	45	脳神経外科	34	耳鼻咽喉科	25	合 計	720
呼吸器・アレルギー内科	38	神経再生医療科	—	神経精神科	32		
腫瘍内科	42	婦人科	40	放射線治療科	28		
血液内科	18	産科周産期科	48	放射線診断科	—		
脳神経内科	28	小児科	30	麻酔科	—		
消化器・総合、乳腺・内分泌外科	48	眼科	28	総合診療科	—		
心臓血管外科	16	皮膚科	24	歯科口腔外科	21		

※ 上記のほか共通床として11床がある。
※ 191床休床

③ 特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
RI病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	4
	集中治療部門	8
NICU	6階西病棟	12
GCU	6階西病棟	12

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

年 度 性別 科 別	令 和 2 年 度			令 和 3 年 度			令 和 4 年 度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
消 化 器 ・ 免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消 化 器 内 科	1	1	2	1		1	3		3
免 疫 ・ リ ウ マ チ 内 科					1	1			
循 環 器 ・ 腎 臓 ・ 代 謝 内 分 泌 内				1	1	2	1		1
呼 吸 器 ・ ア レ ル ギ ー 内 科	1		1	1	1	2	1		1
腫 瘍 ・ 血 液 内 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
腫 瘍 内 科	4		4				1		1
血 液 内 科					1	1			
脳 神 経 内 科				1		1		1	1
消 化 器 ・ 総 合 ・ 乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科		1	1				2		2
心 臓 血 管 外 科	1		1				1		1
呼 吸 器 外 科									
整 形 外 科									
脳 神 経 外 科									
婦 人 科									
産 科 周 産 期 科							1		1
小 児 科									
眼 科									
皮 膚 科									
形 成 外 科									
泌 尿 器 科	2		2				2		2
耳 鼻 咽 喉 科									
神 経 精 神 科									
放 射 線 治 療 科									
放 射 線 診 断 科									
麻 酔 科									
総 合 診 療 科									
歯 科 口 腔 外 科									
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科									
神 経 再 生 医 療 科									
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	2		2	1	1	2			
集 中 治 療 部									
院 外					2	2	3		3
計	11	2	13	5	7	12	15	1	16

(8) 医療相談状況(令和4年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	消化器内科	免疫・リウマチ内科	代謝・内分泌科	循環器・腎臓科	アレルギー・呼吸器内科	腫瘍内科	血液内科	乳腺・内分泌・総外科	消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	整形外科	脳神経外科	産科周産期科	婦人科	小児科	眼科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	麻酔科	歯科口腔外科	リハビリテーション科	脳神経内科	形成外科	高度救命救急センター	総合診療科	神経再生医療科	放射線治療科	放射線診断科	遺伝子診療科	その他の	合計
	入院	69	83	380	224	101	56	142	81	25	142	55	331	92	165	62	54	118	29	15	1	12	0	206	66	207	0	2	17	0	0	63	2,798		
	外来	154	119	230	195	96	165	179	22	53	248	122	58	230	179	110	71	147	132	46	31	27	32	219	100	2	2	1	12	0	12	330	3,324		
	その他	19	2	15	9	13	6	15	6	14	38	12	14	19	20	5	10	19	8	13	2	1	12	24	2	39	3	3	7	0	0	504	854		
	合計	242	204	625	428	210	227	336	109	92	428	189	403	341	364	177	135	284	169	74	34	40	44	449	168	248	5	6	36	0	12	897	6,976		

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相 談 内 容				件数(延べ)	構成比(%)	備 考
公 的 制 度 等 活 用	自立支援	育 成 医 療		171	1.5%	
		更 生 医 療		197	1.7%	
		精 神 通 院 医 療		43	0.4%	
	養	育 医 療		276	2.4%	
	生	活 保 護		380	3.3%	
	小	児 慢 性		195	1.7%	
	指	定 難 病		1,022	8.9%	
	障	害 手 帳		1,022	8.9%	
	介	護 保 険		558	4.9%	
	労	働 災 害		85	0.7%	
	健	康 保 険		905	7.9%	
	特 定	不 妊 治 療		137	1.2%	
	年 金	・ 手 当 等		286	2.5%	
	援 助 ・ 対 応	そ の 他			333	2.9%
経 済 的 理 由		323	2.8%			
心 理 的 支 援		130	1.1%			
家 族 問 題		99	0.9%			
就 職 ・ 復 職 等		87	0.8%			
退 院 ・ 転 院 援 助		94	0.8%			
在 宅 ケ ア		77	0.7%			
受 診 援 助		202	1.8%			
院 内 連 絡 調 整		1,544	13.5%			
院 外 連 絡 調 整		710	6.2%			
ご 意 見 ・ 苦 情		65	0.6%			
そ の 他			1,423	12.4%		
心 理 判 定 ・ カ ウ ン セ リ ン グ			212	1.8%		
肝 疾 患			884	7.7%		
計			11,460	100.0%		

ウ がん看護相談件数

(単位:件)

	新規	継続	合計
入院	49	187	236
外来	59	1,449	1,508
合計	108	1,636	1,744

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
令和2年度	18,725,816,640	6,722,027,940	25,447,844,580	73.6	26.4	100.0
令和3年度	17,966,855,912	7,544,470,187	25,511,326,099	70.4	29.6	100.0
令和4年度	18,380,902,866	8,010,111,741	26,391,014,607	69.6	30.4	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	入院 外来	年度		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
初診料	入院 外来	8,663,039 47,069,206	8,887,507 53,221,585	7,989,955 56,623,409
再診料	外来	195,546,297	207,057,042	202,020,766
医学管理料等・在宅医療	入院 外来	154,744,120 491,042,510	143,688,486 610,249,183	143,157,741 693,739,547
検査料	入院 外来	302,402,034 1,297,239,859	312,971,863 1,477,825,285	321,858,107 1,572,504,208
画像診断料	入院 外来	97,552,753 787,568,919	90,685,994 830,195,165	85,478,181 847,634,077
投薬料	入院 外来	250,946,436 618,174,467	251,224,931 495,781,683	225,759,927 541,401,639
注射料	入院 外来	1,560,080,568 2,681,318,997	1,020,498,457 3,136,566,782	833,883,939 3,379,626,769
処置料	入院 外来	140,245,366 36,262,270	135,461,476 49,537,756	113,817,785 61,910,371
手術・麻酔	入院 外来	5,867,382,650 125,964,219	6,035,769,448 177,434,350	6,523,203,194 186,172,738
その他	入院 外来	583,642,118 441,841,196	554,491,731 506,601,356	544,739,076 468,478,217
入院料(出来高部分)	入院	2,229,784,893	2,361,419,950	2,148,699,632
入院料(DPC部分)	入院	7,057,945,600	6,607,888,570	6,981,698,140
室料差額	入院	124,681,800	126,367,340	131,229,790
食事	入院	347,745,263	317,500,159	319,387,399
計	入院 外来	18,725,816,640 6,722,027,940	17,966,855,912 7,544,470,187	18,380,902,866 8,010,111,741

(10) 栄養管理サポート概況

ア NST介入件数（延べ数）

診療科	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消化器・免疫・リウマチ内科	291	226	172
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	130	180	63
呼吸器・アレルギー内科	41	58	64
腫瘍・血液内科	609	627	416
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	522	396	291
整形外科	208	102	119
脳神経外科	30	54	20
産科周産期科	2	0	0
婦人科	3	12	25
小児科	0	3	8
眼科	0	3	0
皮膚科	59	65	57
泌尿器科	41	55	72
耳鼻咽喉科	76	31	61
神経精神科	36	57	28
放射線治療科	79	71	59
麻酔科	0	0	0
歯科口腔外科	218	176	92
リハビリテーション科	0	0	0
脳神経内科	49	54	57
形成外科	17	15	13
高度救命救急センター	20	21	16
総合診療科	0	0	0
心臓血管外科	124	156	120
呼吸器外科	50	19	13
神経再生医療科	0	0	0
合 計	2,605	2,381	1,766

※ NST介入件数は、非加算件数を含む

イ 栄養指導件数

診療科	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
消化器・免疫・リウマチ内科	284	73	357	303	80	383	215	68	283
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	395	352	747	278	206	484	219	184	403
呼吸器・アレルギー内科	24	4	28	28	9	37	16	1	17
腫瘍・血液内科	162	34	196	121	27	148	158	43	201
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	575	106	681	483	146	629	414	171	585
心臓血管外科	221	9	230	235	9	244	251	16	267
呼吸器外科	167	0	167	137	2	139	105	11	116
整形外科	44	2	46	23	3	26	18	4	22
脳神経外科	3	0	3	3	0	3	0	1	1
産科周産期科	19	4	23	15	11	26	15	14	29
婦人科	181	1	182	80	2	82	70	4	74
小児科	8	30	38	10	32	42	10	29	39
眼科	35	2	37	19	1	20	35	3	38
皮膚科	22	2	24	27	1	28	15	11	26
泌尿器科	113	18	131	128	19	147	131	20	151
耳鼻咽喉科	32	4	36	19	0	19	16	1	17
神経精神科	7	11	18	7	2	9	13	6	19
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	10	0	10	14	0	14	19	0	19
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	1	1
脳神経内科	14	6	20	21	16	37	11	7	18
形成外科	1	0	1	3	1	4	3	0	3
救急部	0	0	0	0	0	0	1	1	2
総合診療科	0	1	1	0	2	2	0	2	2
神経再生科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	10	1	11	9	2	11	7	0	7
合 計	2,327	660	2,987	1,963	571	2,534	1,742	598	2,340

※ 栄養指導件数は、非加算件数を含む

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

平成23年4月1日 医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置
医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更

平成24年3月31日 医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止

平成25年4月1日 分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更

平成25年8月1日 遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日	黒 木 由 夫
平成26年4月1日－平成30年3月31日	時 野 隆 至
平成30年4月1日－令和3年3月31日	小 海 康 夫
令和3年4月1日－令和4年3月31日	一 宮 慎 吾
令和4年4月1日－現	在 小 島 隆

(3) 歴代研究所副所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日	澤 田 典 均
平成26年4月1日－平成30年3月31日	三 高 俊 広
平成30年4月1日－令和3年3月31日	一 宮 慎 吾
令和3年4月1日－令和4年3月31日	不 在
令和4年4月1日－現	在 本 望 修

(4) 組織

研究所に細胞科学、ゲノム医科学、組織再生学、分子医学、病態情報学、神経再生医療学、免疫制御医学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(令和5年10月1日現在)

部 門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	技師	計
細胞科学部門	1	1	1					1	4
ゲノム医科学部門	1	1		1					3
組織再生学部門	1			2		1			4
分子医学部門		1		1	1				3
病態情報学部門				1 ※					1
神経再生医療学部門	1	1	1						3
免疫制御医学部門	1			1					2
合 計	5	4	2	6	1	1	0	1	20

※ 特任助教1名含む

【附属フロンティア医学研究所とは】

札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所は、北海道における医療と道民の健康増進に貢献するために、先端医学研究を基盤として、トランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）を志向し、その成果を道民に還元することを目的としています。

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4 月 1 日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4 月 1 日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて 3 部門で発足
平成15年 4 月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6 月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4 月 1 日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の 7 部門と 1 施設に再編
平成24年 4 月 1 日	画像・映像支援部門を新設
平成30年 4 月 1 日	ラジオアイソトープ部門を教育研究棟へ移設
令和 3 年 7 月	共通機器室が基礎医学研究棟に移設

(2) 歴代施設部長及びセンター長

昭和44年 4 月 1 日－昭和45年 3 月31日	小野江 為 則
昭和45年 4 月 1 日－昭和46年 8 月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9 月 1 日－昭和50年 3 月31日	田 中 護
昭和50年 4 月 1 日－昭和54年 3 月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4 月 1 日－昭和58年 3 月31日	林 喬 義
昭和58年 4 月 1 日－昭和61年 3 月31日	藪 英 世
昭和61年 4 月 1 日－平成 2 年 3 月31日	秋 野 豊 明
平成 2 年 4 月 1 日－平成 6 年 3 月31日	森 道 夫
平成 6 年 4 月 1 日－平成10年 3 月31日	加 納 英 雄
平成10年 4 月 1 日－平成12年 3 月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4 月 1 日－平成16年 3 月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4 月 1 日－平成20年 3 月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4 月 1 日－平成22年 3 月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4 月 1 日－平成26年 3 月31日	藤 宮 峯 子
平成26年 4 月 1 日－平成28年 3 月31日	小 林 宣 道
平成28年 4 月 1 日－平成30年 3 月31日	加 藤 淳 二
平成30年 4 月 1 日－令和 4 年 3 月31日	當 瀬 規 嗣
令和 4 年 4 月 1 日－現 在	鈴 木 拓

(3) 組織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、画像・映像支援部門の8部門からなり、構成員は以下のとおりである。

(令和5年10月1日現在)

部 門	部 門 長			臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技師	その他職員	計
	教授	准教授	講師						
システム管理部門	1 ※						1 ※		2
形態解析部門	1 ※			2					3
電子顕微鏡部門	1 ※					2			3
蛋白質解析部門	1 ※						1 ※		2
遺伝子解析部門	1 ※						1 ※		2
細胞バンク部門		1 ※					2		3
ラジオアイソトープ部門	1 ※				4			1	6
画像・映像支援部門	1 ※						2	1	4
合計	7 ※	1 ※		2	4	2	7	2	25

※ 兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験規程施行
令和3年3月	動物実験施設新棟竣工
令和3年5月	動物実験施設新棟移転

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日－昭和59年3月31日	浦 澤 正 三
昭和59年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫
昭和63年4月1日－平成4年3月31日	藪 英 世
平成4年4月1日－平成8年3月31日	大 鹿 英 世
平成8年4月1日－平成10年3月31日	新 津 洋司郎
平成10年4月1日－平成14年3月31日	今 井 浩 三
平成14年4月1日－平成17年3月31日	青 木 藩
平成17年4月1日－平成19年3月31日	加 納 英 雄
平成19年4月1日－平成22年3月31日	澤 田 典 均
平成22年4月1日－平成26年3月31日	堀 尾 嘉 幸
平成26年4月1日－平成28年3月31日	高 橋 弘 毅
平成28年4月1日－令和2年3月31日	藤 宮 峯 子
令和2年4月1日－令和4年3月31日	一 宮 慎 吾
令和4年4月1日－現在	高 橋 素 子

(3) 組織

(令和5年10月1日現在)

部長	副部長	主査	獣医師	動物飼育員	業務委託	庶務	計
1※	1	0	1	1	10	1	15

※ 兼務

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会

感染防止委員会実験動物部会
 札幌医科大学動物実験規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設管理運営規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設使用細則

(5) 事業の概要（令和4年度）

ア 施設利用者数 延べ 9,425 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数	1日平均飼育匹数
ラット	3,169	729
マウス	3,137	3,809
スキッドマウス、ヌードマウス	224	212
モルモット	8	3
ウサギ	0	0
ネコ	0	0
ブタ	0	0
サル	0	0
ウニ	0	0
イヌ	0	0
ハムスター	0	0

ウ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ	イヌ
受 入 頭 数	3,169	3,361	8	0	0	0
発 病 頭 数	0	0	0	0	0	0
死 亡 頭 数	0	0	0	0	0	0
剖検検査頭数	40	56	0	0	0	0
抗体検査頭数	28	48	-	-	-	0
培養検査頭数	40	56	0	0	0	0

7 医学部サージカルトレーニングセンター

(1) 沿革

平成29年1月1日 サージカルトレーニングセンター設置準備委員会を設置
 平成30年11月1日 サージカルトレーニングセンター設置について同委員会から理事長へ答申
 平成31年4月1日 要綱に基づくサージカルトレーニングセンターを設置
 以降、従前のサージカルトレーニングセンター設置準備委員会を廃止し、
 サージカルトレーニングセンター運営委員会において大学組織化に向けた
 検討を継続
 令和3年12月1日 サージカルトレーニングセンターを大学組織として発足

(2) 歴代センター長

令和3年12月1日－令和4年3月31日 藤 宮 峯 子
 令和4年4月1日－現在 大 崎 雄 樹

(3) 組織

(令和5年10月1日現在)

センター長	副センター長	スタッフ	計
1 ※	1 ※	1	3

※兼務

(4) 業務概要

キャダバーサージカルトレーニングセミナー開催に係る支援

8 附属総合情報センター

(1) 沿革

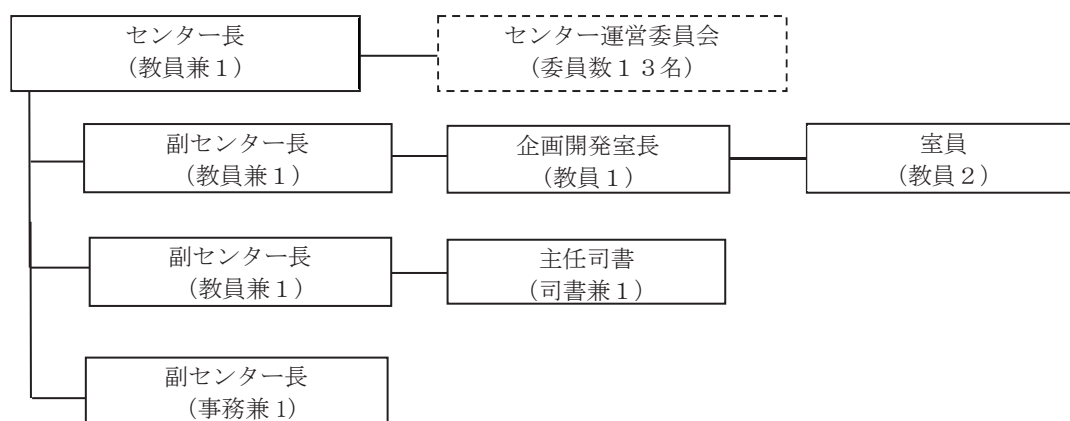
昭和25年	4月	旧女子医学専門学校校舎の一室による図書館業務を開始
昭和31年	7月	旧附属図書館新築落成
平成11年	4月	附属情報センター開設
平成18年	3月	旧附属図書館・旧附属情報センター廃止
平成18年	4月	附属総合情報センター開設
平成19年	4月	特別開館時間の拡大（24時間開館）
令和3年	4月	事務部門を事務局総務課情報推進室へ改組

(2) センター長

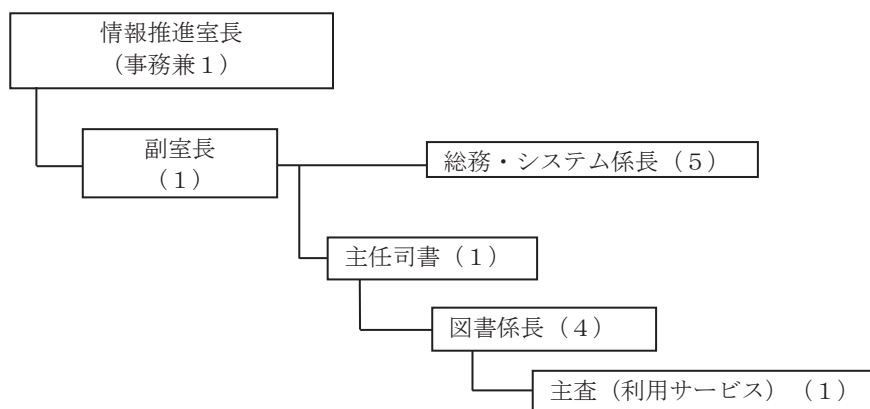
平成18年4月1日	—	平成22年3月31日	佐藤 昇志
平成22年4月1日	—	平成26年3月31日	當瀬 規嗣
平成26年4月1日	—	平成30年3月31日	氷見 徹夫
平成30年4月1日	—	令和4年3月31日	長峯 隆
令和4年4月1日	—		大西 浩文

(3) 組織（令和5年10月1日現在）

【総合情報センター】



【総務課情報推進室】



区分毎の教職員実人数

【附属総合情報センター】

(令和5年10月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
セ ン タ ー 長	1 ※1			1
副 セ ン タ ー 長	2 ※2※3	1 ※4		3
企 画 開 発 室 長	1			1
企画開発室 室員	1			1
主 任 司 書			(欠)	0
計	2	1	0	6

※1 センター長は教員が兼ねる

※2 副センター長は企画開発室長が兼ねる

※3 副センター長は教員が兼ねる

※4 副センター長は総務課情報推進室副室長が兼ねる

【総務課情報推進室】

(令和5年10月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
室 長		1 ※5		1
副 室 長		1		1
主 任 司 書			(欠)	0
総務・システム係		4		4
図 書 係		4		4
主査 (利用サービス)			1	1
計	0	10	1	11

※5 情報推進室長は総務課長が兼ねる

(4) 所管システム

ア 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

シ ス テ ム 概 要	主 な 機 能 等
情報センターが整備するシステム等を有機的に結合する情報通信基盤として、全学（附属病院を含む）を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク（SINET6）と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	Web及び電子メールシステム一式（学外利用可）、ファイル共有システム（学外利用可）管理・認証等用システム一式、情報セキュリティ対策用システム一式、学内用各種システム一式、バックアップシステム一式、その他関連システム及び機器等一式

イ 教育支援システム

シ ス テ ム 概 要	主 な 機 能 等
基礎医学研究棟及び保健医療学部棟へ計187台の教育用機器を配置し、情報処理教育用ソフトウェア等を整備。医学医療情報の検索及び学生への学修環境を提供することで、学生の基礎的な情報処理能力及び医学医療情報に対する利活用能力の育成を図る。	OSイメージ斉配信システム、印刷枚数管理システム、CBT環境配信システム、ログ管理システム、認証システム等管理系システム一式

ウ 図書館システム

システム概要	主な機能等
本学所蔵資料の検索システム並びに電子ジャーナル提供システムの整備により、本学所属員の教育、研究支援を図るとともに、学術文献情報提供による卒後支援と地域医療支援を図る。	蔵書管理システム、学術論文検索システム、リモートアクセスシステム

(5) 図書館概要

ア 施設概要（令和5年4月1日現在）

項 目	札医大
延面積	4,140 m ²
閲覧席	323 席
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	6 台
A V（視聴覚）端末	7 台
貸出用ノート PC	5 台
複合機（有料コイン式）	2 台
学内無線 LAN	2～4 階

イ 蔵書数（令和5年4月1日現在）

（単位 冊）

図 書			製本雑誌			合計
和	洋	計	和	洋	計	
66,217	13,855	80,072	49,037	85,525	134,562	214,632

ウ 雑誌種類数（令和5年4月1日現在）

（単位 誌）

冊子体			電子ジャーナル			合計
和	洋	計	和	洋	計	
3,394	3,102	6,496	1,608	3,936	5,544	12,040

エ その他の主な提供サービス（令和5年度）

電子ブック	Maruzen ebook Library、MedicalOnline E-books、ProQuest Ebook Central 等
電子辞書	医学書院医学大辞典、看護大事典 等
研究業績分析ツール	Web of Science、InCites Essential Science Indicators、InCites Journal Citation Report
臨床ツール	DynaMed、OvidMD、今日の診療、Current Decision Support
学習ツール	Visible Body、看護国試 Web

オ 入館者数（令和4年度）

（単位 人）

項 目	開館日数	学 内 者				学内者計	学外者	合 計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等			
全 体	359 日	3,033	81,661	1,340	3,914	89,948	1,796	91,744
（うち土日祝）	119 日	271	17,540	151	236	18,198	413	18,611

カ 図書館開館時間【24時間開館】

種 別	開 館 時 間	利 用 対 象 者
通常開館	平日（月～金）9時～20時	教職員、学生、卒業生、本学元教職員、北海道内医療従事者、他大学学生、その他センター長の認めた者
特別開館	平日（月～金）20時15分～翌日9時 土日祝日 9時～翌日9時	教職員、学生、卒業生、本学元教職員

キ 貸出実績（相互利用貸出数を除く）（令和4年度）

図 書	（単位 冊）	5,526
貸出用PC	（単位 台）	66

（年間延数）

ク 館内施設利用（令和4年度）（単位 件）

項 目	学 生	教 職 員	計
セミナー室 （グループ学習エリア）	117	14	131
研究個室	9	18	27

～R4年7月新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖

ケ 相互利用（令和4年度）

① 図書貸借（単位 冊）

項 目	計
借受冊数	17
貸出冊数	6

② 文献複写（単位 件）

項 目	計
複写取寄件数	894
（うち学外者）	269
複写提供件数	1,272
（うち学外者）	414

コ 地域医療への貢献

- ・ 本学卒業生及び道内医療従事者への図書館利用許可及びインターネットを介した文献複写サービスの提供（令和5年度登録者 2,433名）
- ・ 道内の医療機関発行病院誌等の電子化によるインターネット上での代行公開

9 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

- 平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足
- 平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足
- 平成30年4月 事務局研究支援課設置に伴い、産学・地域連携センターを改編

(2) 歴代センター長

平成18年4月1日－平成20年3月31日	濱 田 洋 文
平成20年4月1日－平成23年5月9日	三 高 俊 広
平成23年5月10日－平成24年3月31日	黒 木 由 夫
平成24年4月1日－平成26年3月31日	佐 藤 昇 志
平成26年4月1日－平成30年3月31日	澤 田 典 均
平成30年4月1日－令和3年3月31日	堀 尾 嘉 幸
令和3年4月1日－令和4年3月31日	山 蔭 道 明
令和4年4月1日－現在	鳥 越 俊 彦

(3) 組織

(令和5年10月1日現在)

センター長	部門長	特任准教授	特任講師	特任助教	計
1※	2(うち1※)	1	1		5

※兼務

(4) 業務概要

ア 研究部門

- 外部資金獲得に向けた研究者支援
- 地域連携に係る研究者支援

イ 開発部門

- 知的財産に係る研究者支援
- 産学連携に係る研究者支援

(5)文部科学省科学研究費助成事業

研 究 種 目	令和3年度							令和4年度						
	新規					交付合計		新規					交付合計	
	応 募		交付内定		採択率			応 募		交付内定		採択率		
	件数	金 額 (期間総額)	件数	金 額 (期間総額)		件数	金 額 (R3年度)	件数	金 額 (期間総額)	件数	金 額 (期間総額)		件数	金 額 (R4年度)
科学研究費	322	1,869,470	93	349,620	28.90%	262	320,420	291	1,483,949	90	321,600	30.90%	255	315,760
特別推進研究	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
新学術領域研究 (研究領域提案	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
(計画研究)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
(公募研究)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
学術変革領域研究	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	-	0	0
基盤研究	208	1,396,819	61	230,200	29.30%	163	209,850	208	1,163,364	71	256,400	34.10%	182	225,800
(S)	1	178,813	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	-	0	0
(A)	2	99,980	0	0	0.00%	0	0	1	50,000	0	0	0.00%	0	0
(B)	14	261,043	4	53,300	28.60%	14	56,300	13	243,809	4	49,200	30.80%	14	55,100
(C)	191	856,983	57	176,900	29.80%	149	153,550	194	869,555	67	207,200	34.50%	168	170,700
挑戦の研究	37	185,774	3	29,800	8.10%	4	10,900	23	101,633	1	5,000	4.30%	5	11,700
(開拓)	1	20,000	1	20,000	100.00%	1	5,000	0	0	0	0	-	1	5,000
(萌芽)	36	165,774	2	9,800	5.60%	3	5,900	23	101,633	1	5,000	4.30%	4	6,700
若手研究	60	262,905	26	86,400	43.30%	88	93,250	47	204,933	16	55,800	34.00%	65	74,860
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究活動スタート支援	6	16,070	1	2,400	16.70%	5	5,600	4	9,000	2	4,400	50.00%	3	3,400
奨励研究	11	7,902	2	820	18.20%	2	820	9	5,019	0	0	0.00%	0	0
特別研究促進費	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究員奨励費	1	3,000	1	2,200	100.00%	3	2,500	1	3,000	1	1,700	100.00%	2	1,600
研究成果公開促進費	1	320	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	-	0	0
国際共同研究加速基金	1	18,529	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
国際共同研究強化	1	18,529	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合 計	325	1,891,319	94	351,820	28.90%	265	322,920	292	1,486,949	91	323,300	31.20%	257	317,360

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	74	190,220	80	220,453	78	177,678
企業等受託研究	98	146,368	99	93,499	102	84,605
合 計	172	336,588	179	313,952	180	262,283

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
出 願	29	22	63	61	41	25
取 得	19	51	18	30	28	44

※出願数は、国際出願（PCT 出願）を含む。

10 地域医療研究教育センター

(1) 沿革

令和3年4月 地域医療に関する「研究」と地域医療に貢献できる人材育成のための「教育」を組織横断的に推進するため、地域医療研究教育センターが発足

(2) 歴代センター長

令和3年4月1日－令和4年3月31日 渡 辺 敦

令和4年4月1日－現在 高 橋 聡

(3) 組織

(令和5年10月1日現在)

センター長	副センター長	特任助教	計
1※	1※	3※	5

※兼務

(4) 業務概要

ア 地域医療に関する研究

イ 地域医療に貢献できる人材育成のための教育

11 寄附講座

(1) アイン・ニトリ緩和医療学・支持療法学講座

ア 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズ（現 株式会社アインホールディングス）及び株式会社ニトリの寄附により、寄附講座としてアイン・ニトリ緩和医療学推進講座を設置、令和 4 年 4 月 1 日から講座名を「アイン・ニトリ緩和医療学・支持療法学講座」に改名

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

(イ) 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日 ー 平成 25 年 11 月 30 日 杉 本 直 子

平成 25 年 12 月 1 日 ー 現 在 川 村 舞

ウ 組織

(令和 5 年 10 月 1 日現在)

教授	助教	特任助教	計
1 ※	0	1	2

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本講座では、緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療の普及と発展を図るため、次の取組を実施する。

- (ア) 患者・家族の緩和医療・ケアに求めるものに関しての実態調査を実施し、分析するとともに、多職種連携に関する研究課題を検討する。
- (イ) 検討事項に関して、身体症状担当医師、精神症状担当医師、認定看護師、認定薬剤師臨床心理士、社会福祉士がそれぞれの分野において活動し、その成果を公表するとともに、多職種連携が適切に行われ臨床に活かされているかを考察し、教員・研究者へのフィードバックと院内・外、地域医療へ還元する。
- (ウ) 「がん相談サロン」のあり方を検討し、がん患者の包括的アセスメントに占めるコ・ワーカーとしての位置づけを確立する。
- (エ) 多職種連携型の緩和医療を推進するモデルケースとして当講座の役割を地域において公開講座、学会、セミナー等で発信する。

(2) 再生治療推進講座

ア 沿革

平成 26 年 2 月 1 日 ニプロ株式会社の寄附により、寄附講座として再生治療推進講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 26 年 2 月 1 日－現在 本 望 修

(イ) 代表教員

平成 26 年 2 月 1 日－平成 28 年 3 月 31 日 池 端 知 沙

平成 28 年 4 月 1 日－現在 岡 真 一

ウ 組織

(令和 5 年 10 月 1 日現在)

教授	准教授	講師	特任准教授	特任講師	特任助教	助教	計
1 ※	1 ※	1 ※	1	1	3	0	8

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本寄附講座は、神経再生医療学部門が進めてきた自己骨髄細胞を利用した脳梗塞や脊髄損傷等の再生医療の基礎研究、臨床研究及び医師主導型治験をベースに、神経再生医療学部門と共同で、医師主導型治験から、その後の再生医療の実用化（製造・販売）に向けた研究開発を行う。

- (ア) 治験薬 GMP に則った細胞の製造から、施設管理、衛生管理、品質管理及びパイロットプラントである CPC の維持管理業務等、治験薬製造の効率化を検討する。
- (イ) 細胞医薬品の同等性評価方法の研究に着手する。また、より適切な方法と試験に必要な器具の開発を行う。更に品質検査体制について、新体制で品質検査を実施するために各種バリデーションと作業員の教育訓練を実施し、早期に新体制を確立する。
- (ウ) 実用化の際に課題となるコスト削減と製造環境の無菌性の向上を目標に専用の製造設備の開発に着手する。
- (エ) 原料となる患者から採取した血液と骨髄及び製品の搬送条件を検討する。搬送時の温度と時間による劣化を検討し、その結果を基に品質を安定化できる搬送器具の開発に着手する。
- (オ) 製品の有効期限を検討するため、長期安定性試験を実施する。培養した細胞を長期に冷凍保管し、長期保存のデータを取得する。

(3) 北海道病院前・航空・災害医学講座

ア 沿革

平成 28 年 4 月 1 日 寄附講座として北海道病院前・航空・災害医学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 28 年 4 月 1 日－現在 成 松 英 智

(イ) 代表教員

平成 28 年 4 月 1 日－平成 28 年 8 月 31 日	窪 田 生 美
平成 28 年 9 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日	森 幸 野
平成 29 年 4 月 1 日－平成 29 年 11 月 30 日	吉 田 有 法
平成 29 年 12 月 1 日－平成 31 年 3 月 31 日	中 舘 聡 子
平成 31 年 4 月 1 日－令和 2 年 3 月 31 日	岡 本 憲 幸
令和 2 年 4 月 1 日－令和 3 年 3 月 31 日	齋 藤 僚 太
令和 3 年 4 月 1 日－令和 5 年 3 月 31 日	萩 原 詢 哉
令和 5 年 4 月 1 日－令和 5 年 9 月 18 日	加 藤 史 人
令和 5 年 9 月 19 日－令和 6 年 3 月 31 日	鈴 木 悠 介

ウ 組織

(令和 5 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任助教	研究員	研究補助員	計
1 ※	2 ※	6 ※	1	4	1	15

※ 兼務

エ 研究計画の概要

- ・北海道の病院前救護を研究するとともに、救急救命士等救急隊員の教育プログラムを開発し、病院前救護の高度化に貢献する。
- ・広大で医療資源の偏在が著しい北海道の航空医療体制確立を図るための研究及び救急搬送ヘリコプター等、航空医療搬送関係機関の連携体制、医療優先固定翼機の導入及び運用に向けた研究を行う。
- ・北海道の災害医療を研究するとともに、災害医療従事者の教育プログラムを開発し、災害発生時に効果的に活動できる医療体制確立に貢献する。

- (ア) 救急救命士の教育方法の研究
- (イ) メディカルコントロールについての研究
- (ウ) 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究
- (エ) 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究
- (オ) 災害時医療チームの教育方法の研究
- (カ) 災害時医療体制の研究
- (キ) 高齢者救急の研究

(4) 運動器抗加齢医学講座

ア 沿革

令和4年4月1日 個人及び旭化成ファーマ株式会社の寄附により、寄附講座として運動器抗加齢医学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

令和4年4月1日ー令和5年9月30日 坂田耕一
令和5年10月1日ー現 在 寺本篤史

(イ) 代表教員

令和4年4月1日ー現 在 射場浩介

ウ 組織

(令和5年10月1日現在)

教授	講師	助教	特任教授	研究員	訪問研究員	計
1※	0	1※	1	0	2	5

※兼務

エ 研究計画の概要

骨粗鬆症や変形性関節症など加齢に伴う運動器疾患患者は増加の一途にある。本講座では北海道内の医療機関と連携した疫学調査を行い、運動器の加齢性疾患の実態を明らかにする。その結果に基づき、有効な予防法や治療法の開発に取り組む。また、動物モデルやヒト未固定または固定標本を用いた基礎研究を進め、加齢性疾患の病態の解明や新規治療法の開発を目指す。

- (ア) 骨代謝疾患の診断と治療における問題点とその対策に関する研究
- (イ) 2次性骨粗鬆症性骨折の発生予防を目的とした疫学研究
- (ウ) 上肢の外傷と変性疾患に対する診断と治療法に関する研究
- (エ) 小児運動器疾患の治療法に関する研究
- (オ) 骨代謝疾患にともなう疼痛発生メカニズムに関する研究
- (カ) 骨代謝疾患とサルコペニアの病態における筋・骨連関メカニズムに関する研究
- (キ) ヒト未固定凍結標本を用いた上肢機能評価法と再建手術法の確立に関する研究
- (ク) 運動器加齢性疾患モデルマウスを用いた病態解析に関する研究

(5) 炎症性腸疾患遠隔医療講座

ア 沿革

令和5年7月1日 株式会社 JIMRO、杏林製薬株式会社、ミヤリサン製薬株式会社、持田製薬株式会社の寄附により、寄附講座として炎症性腸疾患遠隔医療講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

令和5年7月1日－現在 仲 瀬 裕 志

(イ) 代表教員

令和5年7月1日－現在 風 間 友 江

ウ 組織

(令和5年10月1日現在)

教授	講師	助教	特任教授	研究員	訪問研究員	計
1 ※	0	0	1	0	0	2

※兼務

エ 研究計画の概要

1. 遠隔医療可能な病院との連携拡大。
2. IBD medical staff のための教育資料を作成。
3. 道内医療中核病院と連携による medical staff に対する定期的な研修会開催。
4. 地域の IBD 患者の診療に携るにかかりつけ医に対して定期的な研修会開催
5. Principal research in Hokkaido Organization Emphasizing Nutritional and therapeutic Improvement to IBD patients' expectation (Phoenix) cohort による北海道 IBD 患者の診療に関するコホート研究。
6. Medical staff ならびに IBD 患者を対象とした様々なアンケート調査研究。

12 特設講座

(1) 南檜山地域医療教育学講座

ア 沿革

令和3年4月1日 北海道道立病院局からの資金提供により、特設講座として南檜山地域医療教育学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

令和3年4月1日－現在 辻 喜久

(イ) 代表教員

令和3年4月1日－令和5年3月31日 平 山 大 輔

令和5年4月1日－現在 佐 藤 健 太

ウ 組織

(令和5年10月1日現在)

教授	講師	助教	特任助教	研究員	研究補助員	計
1 ※	1 ※	1 ※	1	3	0	7

※ 兼務

エ 研究計画の概要

人口減少、少子高齢化の地域への影響は大きく北海道も例外ではない。特に、北海道南部の南檜山地区の医師需給率の低さは非常に厳しいものがある。こうした現状から、2020年8月には厚生労働省は南檜山地区を地域医療構想における重点支援区域に指定した。また、2020年10月には北海道庁並びに南檜山地区を構成する江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町による地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワークが設立され、札幌医科大学では南檜山地域医療教育学講座を開講し、これを支援することとなった。

そこで、今回設立される地域医療連携法人と協同し継続的な医療体制の構築をめざし、南檜山メディカルネットワークの医療情報を整理活用し、そこでの医療・研究に従事する医師が継続的に存在するための地域医療マインド養成実習・研修プログラムの策定を研究する。

- ・将来地域医療を担う医学生・研修医に対する医療知識・技能・態度の教授 手法の研究
- ・医療機関の病診 連携、遠隔診断・治療方法の確立
- ・離島/僻地にて医療・研究に従事する医師が継続的に存在する条件の検証

(2) 消化器先端内視鏡学講座

ア 沿革

令和5年4月1日 江別市（江別市立病院）からの資金提供により、特設講座として消化器先端内視鏡学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

令和5年4月1日－現在 仲 瀬 裕 志

(イ) 代表教員

令和5年4月1日－現在 室 田 文 子

ウ 組織

(令和5年10月1日現在)

教授	講師	助教	特任助教	研究員	研究補助員	計
1 ※	0	0	2	0	0	3

※ 兼務

エ 研究計画の概要

1. 道内における消化器内視鏡医師の教育・指導の推進
2. Information and communication technology (ICT) を用いた遠隔内視鏡診療
3. 低侵襲内視鏡治療の推進・開発

13 決算・予算

(1) 令和4年度決算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	決算額	科目	決算額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,377,089</u>	<u>業務費</u>	<u>38,088,380</u>
運 営 費 交 付 金	7,377,089	教 育 研 究 経 費	1,338,265
		医 薬 材 料 費	12,189,210
<u>学生納付金</u>	<u>797,372</u>	診 療 経 費	4,263,642
学 生 納 付 金	797,372	管 理 経 費	5,455,267
		人 件 費	14,841,996
<u>附属病院収入</u>	<u>26,275,567</u>	<u>財務費用</u>	<u>655,417</u>
診 療 収 入	26,275,567	長 期 借 入 金 償 還 費	655,417
<u>雑収入</u>	<u>4,268,633</u>	<u>受託経費</u>	<u>425,813</u>
負 担 金 及 び 補 助 金	3,323,581	受 託 経 費	425,813
科学技術研究費等間接経費	116,093		
そ の 他 雑 収 入	828,959	<u>寄附金事業費</u>	<u>550,583</u>
<u>受託収入</u>	<u>437,071</u>	寄 附 金 事 業 費	550,583
受 託 収 入	437,071	<u>施設等整備費</u>	<u>1,078,650</u>
<u>寄附金収入</u>	<u>548,103</u>	施 設 整 備 費	448,592
寄 附 金	548,103	機 器 整 備 費	630,058
<u>道費補助金</u>	<u>588,162</u>		
施 設 整 備 費 補 助 金	285,844		
修学支援事業費補助金	33,135		
物価高騰対策支援事業	269,183		
<u>道費借入金</u>	<u>630,058</u>		
医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	630,058		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>563,188</u>		
積 立 金 取 崩	563,188		
計	41,485,243	計	40,798,843

(2) 令和5年度予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,974,000</u>	<u>業務費</u>	<u>38,970,243</u>
運 営 費 交 付 金	7,974,000	教 育 研 究 支 援 経 費	1,450,975
		医 薬 材 料 費	11,965,493
<u>学生納付金</u>	<u>821,392</u>	診 療 経 費	4,037,908
学 生 納 付 金	821,392	管 理 経 費	6,109,118
		人 件 費	15,406,749
<u>附属病院収入</u>	<u>27,071,252</u>		
診 療 収 入	27,071,252	<u>財務費用</u>	<u>580,000</u>
		長 期 借 入 金 償 還 費	580,000
<u>雑収入</u>	<u>1,942,967</u>		
負 担 金 及 び 補 助 金	1,414,521	<u>受託経費</u>	<u>357,472</u>
科学技術研究費等間接経費	139,261	受 託 経 費	357,472
そ の 他 雑 収 入	389,185		
<u>受託収入</u>	<u>357,472</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>645,700</u>
受 託 収 入	357,472	寄 附 金 事 業 費	645,700
<u>寄附金収入</u>	<u>645,700</u>		
寄 附 金	645,700	<u>道費補助金</u>	<u>332,062</u>
		施 設 整 備 費 補 助 金	297,000
<u>道費補助金</u>	<u>332,062</u>	修 学 支 援 補 助 金	35,062
施 設 整 備 費 補 助 金	297,000		
修 学 支 援 補 助 金	35,062	<u>道費借入金</u>	<u>554,477</u>
<u>道費借入金</u>	<u>554,477</u>	医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	554,477
医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	554,477		
<u>積立金取崩収入</u>	<u>1,740,632</u>		
目 的 積 立 金 取 崩 収 入	1,462,507		
繰 越 積 立 金 取 崩 収 入	278,125		
計	41,439,954	計	41,439,954

14 校舎等建物面積

(令和5年10月 1 日現在)
(単位：㎡)

建 物 別 用 途 別		計	大 学 校 舎					
			保 健 医 療 学 研 究 棟	臨 床 教 育 研 究 棟	基 礎 医 学 研 究 棟	教 育 研 究 棟 I	教 育 研 究 棟 II	大 学 管 理 棟
校	講 義 室 ・ 演 習 室	5,313	1,762	252		2,795	504	
	実 験 室 ・ 実 習 室	7,251	1,919	79	286	4,245	722	
	研 究 室	4,641	2,154	63	509	662	1,253	
	講 座 関 係	10,149		6,301	3,848			
	標 本 館	370			370			
	図 書 館	4,230			4,230			
	附 属 研 究 所	1,441				1,441		
	動 物 実 験 施 設 部	4,060						4,060
舎	講 堂	490		490				
	管 理 関 係 そ の 他	41,058	4,673	7,605	11,311	8,936	5,419	3,114
計		79,002	10,507	14,790	20,554	18,079	7,898	7,174

建 物 別 用 途 別		計	附 属 病 院				屋 内 体 育 館 リハビリ 教育実習棟	グランド 附属物	学 生 寮	保 育 所	国 際 医 学 交 流 センター	医 学 交 流 会 館	交 会 館	フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	記 念 ホール	細 胞 プ ロ セ ッ シ ング 施 設	旧 看 護 師 宿 舎	そ の 他
			中 央 診 療 棟	外 科 診 療 棟	来 院 西 病 棟													
附 属 病 院	病 棟 関 係	29,089	22,253	2,382	4,454													
	外 来 関 係	9,079	901	7,731	447													
	中 央 部 門	12,865	10,257	1,116	1,492													
	管理関係その他	27,783	17,631	3,096	7,056													
院 小 計		78,816	51,042	14,325	13,449													
体 育 施 設 リハビリ実習施設		3,331				3,253	78											
学 生 寮		1,190						1,190										
保 育 施 設		747								747								
国 際 医 学 交 流 センター		618									618							
交 流 会 館		1,907										1,907						
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス		553											553					
記 念 ホール		733													733			
細胞プロセッシング施設		364														364		
そ の 他		2,903															2,847	56
計		91,162	51,042	14,325	13,449	3,253	78	1,190	747	618	1,907	553	733	364	2,847	56		

総 計 170,164

令和5年度 札幌医科大学要覧

令和5年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学

事務局経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線22180

FAX 011-611-2237

<https://web.sapmed.ac.jp/>
